

第2回 足立区文化・読書・スポーツ推進委員会 文化芸術部会 次第

令和7年8月7日（木）

午前10時00分～12時00分

ギャラクシティ 3階 多目的室1

1 第1回文化芸術部会における主な意見及び今後の方針について ≪資料1≫

2 文化芸術分野の評価について

（1）各委員による評価の集約結果 ≪資料2≫

（2）文化芸術部会の評価（案） ≪資料3≫

（3）意見交換・質疑応答

3 文化芸術分野の区民アンケート調査票について

（1）新旧対照表、文化芸術部会の区民アンケート調査票（案） ≪資料4～6≫

（2）意見交換・質疑応答

4 今後の予定

（1）第3回 足立区文化・読書・スポーツ推進委員会 全体会

日 時：令和7年9月26日（金） 午後2時00分～午後4時00分

場 所：足立区生涯学習センター 5階 研修室1

主な議題：各部会における審議結果の共有、3分野の意見調整など

【配布資料】

資料1 第1回文化芸術部会における主な意見及び今後の方針

資料2 文化芸術部会 評価集約結果

資料3 足立区文化芸術推進計画 施策評価シート（案）

資料4 区民アンケート 新旧対照表

資料5 区民アンケート調査票（16歳以上用）（案）

資料6 区民アンケート調査票（小5・中1用）（案）

第 1 回文化芸術部会における意見及び今後の方針

No	意見	今後の方針
1	<施策2-2について> えんチャレの令和 6 年度目標値が登録団体 13 団体となっているが、実績値は 8 団体である。新規団体 1 団体が不合格、更新審査で 5 団体が不合格となっており、登録希望者数としては目標値を達成している状態だと感じる。事業の目的や思いがあって可否の判断がされているかと思うが、現在の指標ではそれらが反映できないのではないか。	えんチャレでは活動頻度や内容を鑑みて審査を行い、外部の審査員を含めた審査会において可否を決定する。ご指摘のとおり、単に登録団体数を指標としてしまうと、実績が応募団体の質などに依存してしまうため、今後よりよい指標への変更を検討する。
2	<アンケートについて> 施策4-2の方向性は「ゆるやかにプラットフォームを形成し、足立区の文化芸術の活性化を図る」とあるが、現在の成果指標「足立区は文化芸術の推進に力を入れていると感じる区民の割合」「足立区の文化芸術の推進施策を評価できると感じている区民の割合」では、方向性が適切に測れるのは疑問である。評価指標を検討する必要があるのではないか。	指標の再考も含め新計画策定に向けて検討していきたいと思います。
3	<アンケートについて> 鑑賞施設が区内外かどうかを確認する問13を削除してしまうこととなるため、区内外の情報が必要であれば、問12の回答選択肢に「足立区内で観たり聴いたりした」「足立区外で観たり聴いたりした」などを用意したらいかがか。	鑑賞施設やイベントの場所については指標に影響しないため、区内外かどうかは問わないこととする。
4	<アンケートについて> 問15の回答の選択肢が「ある」「ない」となっているが、問12では「したかったが、できなかった」を含めて 3 つの選択肢がある。選択肢を 3 つに統一したほうがよいのではないか。	問15の選択肢に「したかったが、できなかった」を追加する。

【足立区文化芸術推進計画（令和 6 年度実施事業分）】

施策の柱	1	生涯を通じて文化芸術との出会いを創出する	全体評価
施策名	1-1	文化芸術の魅力や楽しさに「気づく」機会を創出する	3
5（１）「現在の達成状況」への評価			達成度
①「足立区は文化芸術に親しめるまちと感じている区民の割合」について、令和 8 年度の目標（80%）を達成するためには、R3の37.9%からすると一段の対策を実施することが必要であり、周知を工夫されたい。シアター1010の文楽公演やアトリウムコンサートなどについても事業の取組みと、その魅力をワンポイント講座的のようにあだち広報などで紹介するなど、継続されたい。（小泉委員 評価 2） 指標③④については一定の評価をしたいが、足立区の文化というとシアター1010が出てくるが、北千住に対する熱量を感じる。北千住だけでなく他の足立の地域では文化に親しめる取り組みに力を入れて欲しいと思う。（田島委員 評価 3） 初めて実施された文学講座について、令和 5 年度の参加者数は267人、令和 6 年度は232人とわずかに減少している点はやや残念である。しかしながら、講座の内容自体は大変充実しており、質の高いプログラムが提供されていることがうかがえる。参加者の満足度も高いと考えられ、引き続きの継続と発展が期待される。シアター1010における公演ラインナップは、ジャンルの幅が広く、バラエティに富んでおり、多様な来場者層に対応した企画が展開されている点が高く評価できる。現在は工事休館中であるが、再開後には新たな観客層の獲得やリピーターの増加が期待される。今後も地域文化の中核拠点としての役割を果たすことが望まれる。（傍嶋委員 評価 3） ・指標③、④ともに令和5年度の実績が令和4年度を下回っている者の、ともに達成率が90%を超えている点は素晴らしいと感じる。 ・要因においても、シアター1010での公演をはじめ、足立区内で様々なジャンルの公演を実施しており、それらが達成率の高さに繋がっていると考えられる。（葛西委員 評価4）			3.0
5（２）「今後の方向性」への評価			方向性
文楽公演無料招待、区民還元事業の実施は、区民が関心を寄せる良い機会と思う。ストリートピアノにおける集客のため、ゲストパフォーマーの出演やイベントのコラボは、予算の検討も必要だが有効と思われる。（小泉委員 評価 4） ストリートピアノの導入は音楽に触れるきっかけになるので評価したい。 中長期の取り組みについて、足立区民なら誰もが文化芸術の魅力に「気づき」、楽しいと思える出会いの機会を充実させていくとあるが、具体性に乏しいように感じる。中長期とはいえ、もう少し具体的に記載して欲しかった。（田島委員 評価 3） 文化芸術に「気づく」機会の提供においては、まず広く周知を図ることが極めて重要である。特に伝統文化の継承や紹介については、現代の生活様式とのギャップもあり、参加のハードルが高くなりがちであるが、工夫次第で魅力的なプログラムの展開も可能である。今後は情報発信の工夫と、体験を通じた関心喚起により、より多くの人々が伝統文化に触れる機会が創出されることを期待したい。（傍嶋委員 評価 3） ・現在文化芸術に興味がない人や鑑賞していない人に行動してもらうために、【中長期の取組】にある通り、様々な特性の方々の興味関心に合わせた、幅広いコンテンツを提供することが必要と考えられる。 ・文楽の招待公演が成功事例として挙げられているが、さらに実績を伸ばしていくために、文楽のみに縛られず、幅広いコンテンツを足立区で鑑賞できる環境を準備することが重要と考える。（葛西委員 評価 3）			3.3

評価コメント記入シート

【足立区文化芸術推進計画（令和6年度実施事業分）】

施策の柱	1	生涯を通じて文化芸術との出会いを創出する	全体評価
施策名	1-2	子どもの成長に応じた文化芸術事業を提供する	4
5（１）「現在の達成状況」への評価			達成度
②足立区の子どもに対する文化芸術事業を評価している区民の割合は、達成率も順調に伸びており評価できる。全区立小学校5年生を対象に劇団四季の「美女と野獣」の感激の実施については、ミュージカルに関する関心高まりや、感想を家族に話すなど、学校の保護者からも聞こえており評価できる。「Japan Festa in ADACHI」や「はらぺこあおむしショー」については、成果についてどうだったのか？事業内容についてと合わせ認知度が不足していると思われる。（小泉委員 評価4） 区内の小学校に通う子供たちが、劇団四季のミュージカルに参加できるのはとても良いことだと思う。はらぺこあおむしのショーの参加希望者が応募人数をはるかに上回っており人気がうかがえる一方で、応募した半分の方は参加が出来ていないのでより多くの方が子供が小さいころから芸術に触れる機会を増やしてほしいと思う。（田島委員 評価4） 令和4年度から実施されている劇団四季の鑑賞体験は、子どもたちにとって非日常的な芸術体験を提供し、非常に良い影響を与えていると考えられる。一方で、提供されている内容が主に演劇に偏っているため、今後は絵画や彫刻、写真、映像などの多様なジャンルの鑑賞機会も並行して拡充されることが望まれる。 「はらぺこあおむしショー」のような寄付を活用した文化芸術事業は、自治体単独では実現が難しい規模の取り組みを可能とし、特に子どもたちに豊かな鑑賞体験を届ける点で非常に意義深い。官民連携の好事例として評価できるとともに、今後も継続的に実施・拡大されることを期待したい。（傍嶋委員 評価4） ・指標①、③の数値が出ていないので評価がしづらいが、指標②を見る限り、足立区の子どもに対する文化芸術事業に対する評価はあがっており、その点は評価できる。 ・要因としても、劇団四季の観劇や歴史コンテンツ、「はらぺこあおむし」などの絵本コンテンツなど、子どもに対して様々な芸術を鑑賞する機会を提供しており、評価できる。（葛西委員 評価4）			4.0
5（２）「今後の方向性」への評価			方向性
子どもの心の成長に活かせる芸術鑑賞体験事業として、より良い演目などを精査していくことは重要であり評価する。（小泉委員 評価3） 子どもの感受性が一番育つ小学5年生の時に区としてこのような事業を提供するのはとてもよいことであると感じる。小学5年生だけでなくたまたもう少しそれぞれの成長段階に応じた文化体験事業を期待したい。 中長期の取り組みが漠然としていてももう少し具体的に記載して欲しかった。（田島委員 評価3） 子どもたちを中心とした鑑賞機会の提供は、文化芸術への興味関心を育むうえで極めて重要であり、今後も継続的に実施されることが望ましい。加えて、既存のプログラムに加え、デジタル技術の活用や学びと結びつけた体験型企画など、新たなアプローチによる展開が期待される。これにより、さらに幅広い層への訴求が可能となるだろう。（評価4） ・子どもへの鑑賞機会ということをつ捉えたときに、子どもには特定の文化芸術のみではなく、幅広い、多様な文化芸術（海外文化含む）を伝えていくことが必要と考える。そういった多様な文化芸術への理解が、グローバル化が進むこれからの社会において、子どもたちの生きる力や、他者との共生する力を育むと考える。 ・その点にたって考えたときに、子どもたちに毎年同じものを提供するのではなく、幅広いジャンルの文化芸術を鑑賞できる機会をつくることが望ましい。既存の人脈に縛られず、常に様々なアーティストや文化芸術団体と連携して、足立区に誘致する営業努力が必要と考える。（葛西委員 評価2）			3.0

評価コメント記入シート

【足立区文化芸術推進計画（令和6年度実施事業分）】

施策の柱	2	区民の活発な文化芸術活動を促進する	全体評価
施策名	2-1	活動の継続を促す参加・体験の機会を増やす	4
5（１）「現在の達成状況」への評価			達成度
①令和5年度は世論調査を実施し、令和4年度を上回ったことは評価できる。ズーム等活用したオンライン講座など努力の結果が感じ取れる。（小泉委員 評価4） 大学との連携に更に期待したい。令和6年度からの参加者数の増加についても一定の評価をしたい。（田島委員 評価4） 学習センターにおけるオンライン講座の取り組みは、時間や場所の制約を受けにくい参加環境を提供しており、参加者数の増加という成果にもつながっている点が評価できる。特にコロナ禍以降、オンラインの有効活用は地域の文化教育活動において重要な手段となっており、今後もこの成果を継続・拡張していくことが期待される。「ちょいカル」は、文化・スポーツ・学びの3分野を横断する参加促進の仕組みとして有効に機能しており、地域住民が気軽に参加できる環境づくりに寄与している。多様なニーズに応える柔軟な事業設計により、参加のハードルを下げる点でも高く評価できる。今後も継続して展開されることを強く望む。（傍嶋委員 評価4） ・指標①、④において高い達成率を示しており、評価できる。 ・学習センターでは非常に幅広い講座を定期的に行っており、区民の文化芸術体験機会の増加に大きく影響していると思われる。 ・ちょいカルも文化芸術活動の体験機会創出につながっており、非常に良いことと思われる。（葛西委員 評価5）			4.3
5（２）「今後の方向性」への評価			方向性
千住宿開宿400年にあたる令和7年に関連させる意識した活動を行っていることは評価できる。（小泉委員 評価3） ・「千住宿開宿400年事業」にも期待したいが千住だけ一部が盛り上がるのではなく、足立区全体に波及できるようにしてほしい。 ・令和9年度からギャラクシティの大型改修により、施設が使えなくなるので、その時に今と同じ数の事業が運営できるのかも知りたかった。（田島委員 評価3） 歴史的な地域資源との連携をさらに深め、千住宿開宿400年などの記念事業と日常的な参加促進プログラムを有機的に結びつけた新たな展開が図られることを期待したい。（傍嶋委員 評価4） ・引き続き文化芸術に触れる機会創出を増やしていくべきだと考えるが、一方で、学習センター等で行われている講座には「文化芸術」というカテゴリに入れてよいのか疑問を持つ講座も多いので、区民に体験していただく文化芸術の内容や質にも注目して進めていくべきと考える。 ※講座自体が良い悪い、ということではなく、文化芸術のカテゴリに入れてよいかどうか、という観点を持つべき、という意見です。（葛西委員 評価3）			3.3

評価コメント記入シート

【足立区文化芸術推進計画（令和6年度実施事業分）】

施策の柱	2	区民の活発な文化芸術活動を促進する	全体評価
施策名	2-2	個人や団体の活動の継続を支援する	3
5（１）「現在の達成状況」への評価			達成度
③文化芸術に関わる活動を行っている区民の割合が、R5は高まっている（実績値：16.9->39.5%）が、音楽での定期演奏会や区が共催した各種文化事業などの取組み成果が現れていると評価する。えんチャレ事業においては、チャレンジャーの更なる活動の活性化と支援を図ってほしい（小泉委員 評価４） 文化団体への公園が令和5年、6年と徐々に増えている点を評価したい。これからも、区で活躍する文化芸術団体を応援して欲しいとおもう。（田島委員 ３） 区内の音楽団体３団体による定期演奏会について、観客数や事業数が着実に増加していることは、区民に対する文化的な鑑賞機会の拡充につながっており、非常に意義深い取り組みである。これにより、地域に根ざした音楽活動の活性化が図られ、日常的に質の高い音楽芸術に触れることができる環境が整いつつある点が高く評価できる。（傍嶋委員 評価４） ・指標③の達成率が高い点は素晴らしいが、指標①、②の達成率が低いことが今後の課題である。 ・要因分析を見る限り、区の共催事業やエンターテインメントチャレンジャー支援事業などの成果が挙げられているが、いずれも一般区民の文化芸術活動というよりは、比較的ハイレベルな文化芸術団体向けの支援事業と考えられる。今後指標を伸ばしていく上で、もう少し裾野の広い支援も必要と考えられる。（葛西委員 評価４）			3.7
5（２）「今後の方向性」への評価			方向性
えんチャレの新規登録者に「中国雑技」の団体が入ったが、今後も多様なチャレンジャーが出るよう広報も行ってほしい。郷土博物館がリニューアルオープンしたが、地域的にも離れたところから来場できない方もいる。所有物の巡回展示なども不定期でも図ったらどうか？（小泉委員 評価３） 短期の取り組みも中小期の取り組みも具体的に記載されている点を評価したい。（田島委員 評価３） 個人や団体による文化芸術活動を一層広げていくためには、「えんチャレ」や文化芸術団体登録制度の意義やメリットについて、より具体的かつ分かりやすく広く周知していくことが重要である。制度の活用方法や得られる支援、ネットワークの利点などを明確に伝えることで、新たな登録や活動参加を促進し、地域全体の文化活動の底上げにつながることを期待される。（傍嶋委員 評価３） ・エンチャレ等、プロを目指す人向けの支援の他に、より一般的な支援（学習センター等と連携したものなど）も開発していく必要があるように感じる。 ・文化芸術活動において、恒常的に会場不足が論じられている。短期的に解決できる問題ではないが、そういった課題があることも念頭に入れ、活発な文化芸術活動を受け入れられる土台を作っていく必要があると考える。（葛西委員 評価３）			3.0

評価コメント記入シート

【足立区文化芸術推進計画（令和6年度実施事業分）】

施策の柱	2	区民の活発な文化芸術活動を促進する	全体評価
施策名	2-3	活動の成果を発揮できるイベントを開催する	3
5（１）「現在の達成状況」への評価			達成度
①足立区は活動の成果を発揮できる機会が十分にあると感じている区民の割合では、39.2→52.3%(R4→R5)と増加したことは評価できる。（小泉委員 評価４） ふれあい祭りは令和4年度よりも令和5年度により多くの方が参加できている点を評価したい。（田島委員 評価３） 足立区においては、区民が文化芸術活動を発表する機会が数多く設けられており、表現の場が広く開かれている点が高く評価できる。中でも、「ADACHI障害者アート展」や「大ひょうげん」といった事業を通じて、障害のある方々や子どもたちなど、多様な人々が主体的に参加できる機会が充実しており、インクルーシブな文化環境の醸成に貢献している。（傍嶋委員 評価３） 視覚障がい者の私たちにも、もし文化や芸術に触れる機会や参加できることがありましたら、皆様にもお伝えしながら活動できたらと考えています。（荻野委員 評価未） ・指標①を見る限り、達成率が増加しつつあるので、その点は評価できる。 ・ふれあい祭りのような地域のイベントは、地域の文化芸術団体、サークルにとって非常に重要な披露の場であるため、今後も継続して行っていくべきと考える。 ・障がい者アート展での披露は多様な特徴の方々に、また、大ひょうげんでは、普段文化芸術活動に触れていない方や子どもたちに機会を届ける良い機会であると考えられる。（葛西委員 評価４）			3.5
5（２）「今後の方向性」への評価			方向性
文化芸術に関心を持って区外へ鑑賞に出かけたり、作品づくりをしているが、区の関連するイベントや団体に参加していない方が障がい者も含めて存在する。団体以外の個人からも足を運んでもらったり作品をだすような裾野の拡充を図ってほしい。（小泉委員 評価３） 共催イベントについて、令和5年度に21イベントだったものが令和6年度に18イベントになったとあるが、この現象には高齢化などの問題があるように感じる、短期や中長期の取り組みの中で、少子高齢化などの社会事情について区がどのようにアプローチしていくかについて記載があると更に良かったように思う。（田島委員 評価４） これまで継続されてきた各種事業の成果を踏まえ、今後はより多くの区民に情報が届くよう、広報支援の強化が求められる。具体的には、SNSや動画配信などのデジタル媒体を活用した発信力の向上や、学校・地域団体との連携による周知強化が期待される。既存の優れた取り組みをさらに広げ、参加者層の拡大と地域全体の文化活性化につなげていくことが望まれる。（傍嶋委員 評価３） ・地域の文化芸術団体やサークルの披露の場を増やせるよう、地域のイベントをより活発的に行っていくべきと考える。 ・加えて、区主催のイベントには限りがあるので、地域の住民が主体となってイベントを企画、運営していけるよう、伴走支援を行っていくことも重要と考える。（葛西委員 評価３）			3.3

評価コメント記入シート

【足立区文化芸術推進計画（令和6年度実施事業分）】

施策の柱	3	足立区の文化資源を次世代に継承する	全体評価
施策名	3-1	文化財・文化遺産を調査し、保存・活用する	4
5（１）「現在の達成状況」への評価			達成度
①足立区の文化財や伝統芸能に触れたことのある区民の割合、R5年は前年を下回り、②足立区の文化財・文化遺産・伝統文化を誇りに思う区民の割合は上回った。横山家住宅や伊興遺跡公園展示館の取組みなどは評価できる。（小泉委員 評価5） 郷土博物館を中心に区内の歴史的文化資源を活用している点を評価したい。 ・より多くの子ども達が区内の文化に親しめるよう郷土博物館を見学できる事業を行って欲しいと思う。（田島委員 評価4） 足立区には多くの登録文化財が存在しており、地域の歴史的・文化的魅力を示す重要な資源となっている。特に「舎人氷川神社本殿」では約2,100人もの来場者を記録するなど、区民をはじめとした来訪者の関心の高さがうかがえる。こうした文化財の一般公開やイベント化による利活用の成果は、地域文化への理解と誇りを醸成する点で非常に意義深い取り組みである。（傍嶋委員 評価4） ・指標②の数値は年ごとに上昇しているものの、指標①の数値が令和4年より下がっている点が課題である。 ・博物館の出張展示や漫画とのタイアップなどは、区の文化財や伝統芸能への関心を高める良いツールであると考えられるので、今後も継続して実施していくべきと考える。（葛西委員 評価3）			4.0
5（２）「今後の方向性」への評価			方向性
郷土博物館が所有する貴重な文化財の更なる活用をしてほしい。そのためにも区内外の機関や個人にも協力してもらいながら充実させてほしい。千住宿開宿400年に関連する展示を通じて、もっと郷土博物館の存在を知ってもらい、区民により足を運んでもらえるよう努めてほしい。（小泉委員 評価4） ・短期の取り組みについて、千住宿のイベントとコラボして行うなど具体的に記載している点を評価したい。 ・中小期の取り組みについても具体的に記載している点を評価したい。（田島委員 評価4） 文化財の見学イベントに加え、地域の伝統や技術に触れることのできる「ものづくり体験」やワークショップのような実践的なプログラムが充実していくことで、参加者の理解や興味をより深めることができると考えられる。特に子どもや若年層にとって、見るだけでなく実際に手を動かして学ぶ体験は、文化的価値の継承につながる貴重な機会となる。今後は文化財の魅力を多角的に体感できる取り組みとして、見学と体験を融合させたプログラムの拡充が期待される。（傍嶋委員 評価3） ・文化財の調査、収集、保存はもちろん大事なことであるが、それだけでは区民には伝わらないため、「どう伝えるか」が重要であると考え。上述の通り、漫画やWEBなど、違うジャンルとのコラボレーションの他、区の文化財を観光資源として、区外の人やインバウンド向けにも活用することで、区の文化や伝統芸能が区民にとっての誇りになっていくと考えられる。そういった観点からも、幅広く、かつ、斬新なアプローチをもって今後の施策を考えていくべきと感じる。（葛西委員 評価2）			3.3

評価コメント記入シート

【足立区文化芸術推進計画（令和6年度実施事業分）】

施策の柱	3	足立区の文化資源を次世代に継承する	全体評価
施策名	3-2	地域の伝統芸能を継承・活性化させる	3
5（１）「現在の達成状況」への評価			達成度
伝統文化親子教室・郷土芸能大会・しょうぶまつり、区民祭りでの鑑賞機会の提供などの取組みは評価できる。（小泉委員 評価３） 様々なイベントの中で「郷土芸術大会」を行い区民が気軽に郷土文化に触れる機会を作っている点を評価したい。（田島委員 評価３） 「伝統文化親子教室」の開催実績について、令和5年度は前年度比で28.6%の参加者増が見られ、関心の高まりと事業の周知効果がうかがえる。親子で参加できる構成は、家庭内での文化継承のきっかけにもなっており、次世代への伝統文化の継承という観点からも大変意義深い。引き続き安定的な開催とともに、参加枠や開催回数の拡大も期待される。（傍嶋委員 評価３） ・指標②の達成率は85%とかなり高く、指標①も決して低い数値ではないので、その点は評価できる。 ・一方で、そもそもこの指標が「文化資源を次世代に継承する」という目的に沿っているか、やや疑問が残る。 ・伝統文化親子教室など、子どもが気軽に伝統文化に触れられる機会の創出はとても良い。 ・郷土芸能大会等も引き続き行っていくべきであるが、一方で、参加者の固定化が課題として挙げられる。新しい層の開拓や子どもの巻き込みを常に考える必要があると感じる。（葛西委員 評価２）			2.8
5（２）「今後の方向性」への評価			方向性
人口も増え転入者も多い、次世代への承継含め伝統芸能などの鑑賞と体験ができる機会を増やすようにしてほしい。（小泉委員 評価３） 中小期の取り組みについて、すでに少子高齢化が進んできている中で区がどのように伝統文化の継承・活性化を行っていくかも具体的に記載して欲しかった。（田島委員 評価３） 日本の伝統芸能は、単なる文化的教養にとどまらず、地域住民が自らの文化的ルーツや誇りを再認識する機会を提供するものであり、シビックプライド（地域への愛着や誇り）の醸成に大きく寄与する。今後は学校・地域団体との連携を含め、より多様な形式・対象での事業展開を図り、地域ぐるみで伝統芸能に触れられる環境づくりが期待される。（傍嶋委員 評価３） ・子ども向けへの施策が「伝統文化親子教室」の申請サポートのみとなっており、やや閉塞感を感じる。どの地域でも同様であるが、地域の伝統文化が衰退していく中で、継承していくためには抜本的な改革・取り組みが必要と感じている。伝統芸能保存会の方々とも相談しつつ、時には伝統芸能そのものの形を変えることまでも視野に入れながら、「何を」残していくべきか、を今後議論していきたい。また、地域芸能が教育やまちづくり、防災などどう連動していくか、「地域芸能」という観点だけではなく、幅広い観点から考えることが必要であると感じる。（葛西委員 評価２）			2.8

評価コメント記入シート

【足立区文化芸術推進計画（令和6年度実施事業分）】

施策の柱	4	文化芸術の輪を広げるプラットフォームを形成する	全体評価
施策名	4-1	足立区の文化的な魅力を効果的に情報発信する	3
5（１）「現在の達成状況」への評価			達成度
③情報の集約及び効果的情報発信は、令和4年度を上回わり（545151回→71433回）令和8年度の目標値（60000回）も上回ったことは評価する。マンガを情報発信のツールの一つとして活用したり、SNSの取組みも評価できる。（小泉委員 評価3） 区の文化に触れる様々なプラットフォームがあることが今まで知らなかったので、引き続きSNSなど様々な方法で周知を行って欲しいと思う。（田島委員 評価3） 学習センターが発行するミニコミ紙において、近年デザインの改善が図られたことは、視認性や親しみやすさの向上につながっており、情報伝達力の強化という点で大きな成果を上げている。区民にとって有益な情報が届きやすくなっている点は高く評価できる。今後もこうした広報ツールの工夫を継続してほしい。（傍嶋委員 評価4） ・指標③の達成率が目標値を上回るなど、数値上良い結果が得られている点は評価できる。 ・一方で、指標そのものが施策の目標（プラットフォームの形成）を図る上で適切か、という点には疑問が残る。（葛西委員 評価2）			3.0
5（２）「今後の方向性」への評価			方向性
足立区の新住民も多いので、郷土博物館のPRや身近な地域の文化的魅力を学習センターのミニコミ誌などでも紹介するなど、指定管理者とも連携協力して、PRすることを検討してはどうか。（小泉委員 評価3） 短期の取り組みについて、千住宿開宿400年を契機としたグッズ販売の際に関連して郷土博物館を紹介するなどの周知の方法は良いと思う ・中小期の取り組みについて、もう少し具体的に記載して欲しかった。（田島委員 評価3） 区民により親しみを持ってもらい、文化・学習活動への関心を高めていくためには、目を引くキャッチコピーの工夫や、オリジナルグッズの活用など、日常的に接点を持てる仕掛けが効果的である。広報を単なる告知手段としてではなく、文化への入り口とするような発想で、今後さらに創造的かつ柔軟なアプローチが展開されることを期待したい。（傍嶋委員 評価3） ・短期の取組が特定のコンテンツのPR施策に終始してしまっているが、文化の魅力を横断的に発信するプラットフォームを形成するためには、区の文化施設、団体同士での横連携や取り組みが重要であるとする。（葛西委員 評価2）			2.8

評価コメント記入シート

【足立区文化芸術推進計画（令和6年度実施事業分）】

施策の柱	4	文化芸術の輪を広げるプラットフォームを形成する	全体評価
施策名	4-2	連携及び交流の機会を充実し、文化芸術の推進を図る	3
5（１）「現在の達成状況」への評価			達成度
③足立区の文化芸術の推進施策を評価できると感じている区民の割合については、37.6->53.4%と令和4年度を上回った。文楽公演や古民家での出張展示、東京芸術大学と連携したアウトリーチコンサートの取組みは評価できる。（小泉委員 評価３） 東京藝大との連携した事業など定員を大きく超える応募があるが、人気のある事業には枠を増やしてより多くの区民が参加できるように工夫して欲しいと思う。（田島委員 評価３） 国立劇場、文化サロン「仲町の家」、東京芸術大学など、専門性と質の高い文化機関と連携した取り組みが展開され、多くの区民に多彩な文化芸術事業が届けられている点は非常に高く評価できる。一方で、アンケート結果において認知度や参加意欲を示すパーセンテージが低調である点は、広報・発信手法や参加者層の拡大において引き続き工夫が必要であることを示している。事業の質に見合った参加・周知の在り方が今後の課題といえる。（傍嶋委員 評価３） ・指標③の数値が年々上昇している点は評価できる ・要因分析においても、東京芸術大学とギャラクシティの連携企画など、連携機会を創出できている点は評価できる。（葛西委員 評価３）			3.0
5（２）「今後の方向性」への評価			方向性
区内の様々なジャンルのアーティストや伝統ある文化芸術団体、民間文化施設など、文化芸術に関する人材などがゆるやかに連携を図ることによる活性化を目指すことは評価できる。但し、個々のお立場、活動の負担にならぬよう配慮してほしい。（小泉委員 評価３） 中小期の取り組みについて、ギャラクシティにて「アートリンクフェスティバル」を開催予定とあるが、ギャラクシティの改修工事中はどのように行うかも記載して欲しかった。（田島委員 評価３） 地域の民間アート団体との連携を活性化させるうえで、行政と個別団体のあいだを橋渡しするような中間支援的な組織や仕組みの存在が重要だと感じられる。マッチング、情報共有、人材育成、ネットワーク形成などを担う中間団体が機能すれば、地域の多様な文化活動の底上げと、区全体の文化力の強化につながる。今後の組織設計や制度整備において、こうした視点が取り入れられることを期待したい。（傍嶋委員 評価３） ・単発での連携施策も重要であるが、長い目で見て、区内のアーティストや芸術団体が幅広く連携できる仕組み、システムを構築する必要があると思われる。その具体策を明示していくべきと考える。（葛西委員 評価３）			3.0

文化芸術計画 施策評価シート（令和6年度実施事業分）

施策の柱	1	生涯を通じて文化芸術との出会いを創出する
施策名	1-1	文化芸術の魅力や楽しさに「気づく」機会を創出する
担当部・課	地域のちから推進部 生涯学習支援室 地域文化課	
担当部：1～3、6を記入	庁内検討委員会：4を記入	推進委員会：5を記入

1 施策の方向性

文化芸術との出会いは、実際に触れ感じることから始まる。文化ホールや劇場での舞台鑑賞、イベントや地域ごとの文化施設での取り組みなどを拡充することにより、誰もがいつでも文化芸術を楽しめる機会を創出する。

2 成果指標

※R8は目標値

指標名①	足立区は文化芸術に親しめるまちと感じている区民の割合							
指標の定義	区政モニター及び3計画アンケートによる調査を実施 「足立区は文化芸術に親しめるまちであると思うか」という質問を、5段階評価で行い、4と5を回答した人の割合（1：そう思わない～5：そう思う）							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	新規	実績値	新規	30.3%	-	-	-	(80.0%)
目標値（R8）	80.0%			37.9%	-	-	-	

指標名②	足立区の文化芸術事業を評価している区民の割合							
指標の定義	区政モニター及び3計画アンケートによる調査を実施 「足立区の文化芸術事業を評価できると思うか」という質問を、5段階評価で行い、4と5を回答した人の割合（1：そう思わない～5：そう思う）							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	新規	実績値	新規	25.8%	52.4%	-	-	(80.0%)
目標値（R8）	80.0%	達成率	-	32.3%	65.5%	-	-	

指標名③	文化芸術に関心を持っている区民の割合							
指標の定義	区政モニター及び3計画アンケートによる調査を実施 文化芸術（観たり、聴いたり、創作すること）に関心がある区民の割合							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	65.6%	実績値	65.6%	67.0%	92.6%	89.7%	-	(95.0%)
目標値（R8）	95.0%	達成率	-	70.5%	97.5%	94.4%	-	

指標名④	過去1年間に文化芸術鑑賞をした区民の割合							
指標の定義	区政モニター及び3計画アンケートによる調査を実施 過去1年間に、文化ホールや美術館、博物館、劇場、映画館などに出かけて、鑑賞した区民の割合							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	54.5%	実績値	54.5%	30.3%	66.1%	67.2%	-	(70.0%)
目標値（R8）	70.0%	達成率	-	43.3%	94.4%	96.0%	-	

施策の手段として位置づける対応事業の達成度分布

進捗度	A	B	C	D	E	×	合計
事業数	11	0	1	2	0	0	14
%	79%	0%	7%	14%	0%	0%	100%

3 担当部における評価

＜現在の達成状況＞R8目標値に対する達成状況、要因分析、その他実績等
【達成状況】 令和5年度、令和6年度は3計画アンケート未実施 指標③実績値（92.6%→89.7%）令和5年度は世論調査（小規模調査）を実施し、令和4年度を下回った。 指標④実績値（66.1%→67.2%）令和5年度は世論調査（小規模調査）を実施し、令和4年度を上回った。
【要因分析】 ア 令和5年度のシアター1010では「音楽の絵本 ダンディズム」、「アサルトトリリィ」、「青春のアイドル ヒットステージ」など、子ども・若者・壮年をそれぞれ対象とした公演などを実施し、劇場来場者の合計は141,335人と、令和4年度の113,415人から25%増した。なお、令和6年度は11月から工事休館となり、来場者数は89,860人となった。 イ シアター1010の文楽公演に先駆け、令和5年度から国立劇場と連携して「初めての文楽講座」を実施した。令和5年度の参加者のべ数は267人、令和6年度は232人である。
【その他実績等】 ア 令和元年度以来、4年ぶりにアトリウムコンサートを開催した。令和5年度は、のべ819人の観客が来場し、令和6年度はのべ1,274人の観客が来場した。 イ ストリートピアノのアウトリーチを実施し、令和6年度は2回開催で、のべ104人が参加した。
＜今後の方向性＞現在の達成状況を踏まえた今後の方向性等
【短期の取り組み】 ア 文楽公演無料招待など区民還元事業等を実施し、伝統文化に区民等が関心を寄せるきっかけを創出する。 イ ストリートピアノは、集客のためゲストパフォーマーの出演や他のイベントとコラボなどをして実施する。
【中長期の取り組み】 ア 区民が文化芸術を楽しむために、子どもから高齢者、障がい者や外国人など、誰もが文化芸術の魅力に「気づき」、楽しいと思える出会いの機会を充実させていく。
＜助言の反映状況＞助言の反映有無、その理由
令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。 令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況を記載します。

全体評価	達成度	方向性	反映状況
3	3	3	—

4 庁内検討委員会による評価（2次評価）

(1) 「現在の達成状況」への評価

- ア 指標③、④は令和8年度目標の達成が見込めるが、指標①、②については、今のままでは達成が困難と思われるため、今後の対策をしてほしい。事業の実施は多角的に行っている中で、「文化芸術に親しめるまちと感じている区民の割合」の達成度が37.9%から上がるよう、引き続き様々な視点から事業を実施してほしい。
- イ 文楽公演や国立劇場との連携について、新たな試みを実施していることは評価できる。しかし、令和5年度の世論調査（小規模調査）では、シアター1010で文楽公演を行っていることの認知度が22.1%であったことから、周知に力を入れてほしい。

(2) 「今後の方向性」への評価

- ア これまで文楽を鑑賞するきっかけがなかった方が、新たに鑑賞する機会を作ったことは評価できる。今後も、伝統芸能の裾野を広げる取り組みを行ってほしい。
- イ ストリートピアノのアウトリーチは、引き続きより多くの区民等が文化芸術に触れられるよう工夫し集客を図ってほしい。

(3) 「助言の反映状況」への評価

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。
令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況への評価を記載します。

全体評価	達成度	方向性	反映状況
3	3	3	—

5 推進委員会による評価（令和7年●月記載）

(1) 「現在の達成状況」への評価

- ア 指標①について、令和8年度の目標（80%）を達成するため、事業の取り組みや魅力などをワンポイント講座のようにあだち広報等で紹介するなど、周知を工夫をされたい。
- イ 指標③④については一定の評価をするが、北千住だけでなく他の地域でも文化に親しめる取り組みに力を入れて欲しいと思う。
- ウ 初めての文楽講座の内容は大変充実しており、質の高いプログラムが提供されていることがうかがえる。

(2) 「今後の方向性」への評価

- ア 文楽公演無料招待、区民還元事業の実施は、区民が関心を寄せる良い機会と思う。
- イ ストリートピアノの導入は音楽に触れるきっかけになるので評価したい。集客のためのゲストパフォーマー出演やイベントのコラボは、予算の検討も必要だが有効と思われる。
- ウ 中長期の取り組みについて、具体性に乏しいように感じる。中長期とはいえ、もう少し具体的に記載して欲しい。
- エ 伝統文化の継承や紹介については、現代の生活様式とのギャップもあり、参加のハードルが高くなりがちであるが、工夫次第で魅力的なプログラムの展開も可能である。今後は情報発信の工夫と、体験を通じた関心喚起により、より多くの人が伝統文化に触れる機会が創出されることを期待したい

(3) 「助言の反映状況」への評価

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。

6 推進委員会評価に対する区の考え方（項番等は「5 推進委員会による評価」に合わせて記載）（令和7年●月記載）

文化芸術計画 施策評価シート（令和6年度実施事業分）

施策の柱	1	生涯を通じて文化芸術との出会いを創出する
施策名	1-2	子どもの成長に応じた文化芸術事業を提供する
担当部・課	地域のちから推進部 生涯学習支援室 地域文化課	
担当部：1～3、6を記入	庁内検討委員会：4を記入	推進委員会：5を記入

1 施策の方向性

未来ある子どもたちが人生を楽しく心豊かに生きていくために、より多くの文化芸術に触れる機会が必要である。子どもの成長に応じた効果的な文化芸術のアプローチについて、新たに指針を策定し、「楽しさ」や「面白さ」といった心を動かす体験を数多く、かつ継続的に経験してもらう事業を提供していく。
創造力・想像力、思考力、コミュニケーション能力など現代社会で生きていくために必要な力を育むとともに、文化芸術の新たな担い手の育成にもつながることから、長期的な展望を持って取り組んでいく。

2 成果指標

※R8は目標値

指標名①	足立区は子どもたちが文化芸術を楽しめるまちと感じている区民の割合							
指標の定義	区政モニター及び3計画アンケートによる調査を実施 「足立区は子どもたちが文化芸術を楽しめるまちであると思うか」という質問を、5段階評価で行い、4と5を回答した人の割合（1：そう思わない～5：そう思う）							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	新規	実績値	新規	35.2%	-	-	-	(90.0%)
目標値（R8）	90.0%	達成率	-	39.1%	-	-	-	

指標名②	足立区の子どもに対する文化芸術事業を評価している区民の割合							
指標の定義	区政モニター及び3計画アンケートによる調査を実施 「足立区の子どもに対する文化芸術事業を評価できると思うか」という質問を、5段階評価で行い、4と5を回答した人の割合（1：そう思わない～5：そう思う）							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	新規	実績値	新規	30.8%	39.2%	64.1%	-	(90.0%)
目標値（R8）	90.0%	達成率	-	34.2%	43.6%	71.2%	-	

指標名③	過去1年間に文化芸術鑑賞をした子どもの割合							
指標の定義	3計画アンケートによる調査を実施 過去1年間に、学校行事以外で文化ホールや美術館、映画館などに出かけて、鑑賞した子どもの割合							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	89.0%	実績値	89.0%	57.6%	-	-	-	(100.0%)
目標値（R8）	100.0%	達成率	-	57.6%	-	-	-	

施策の手段として位置づける対応事業の達成度分布

進捗度	A	B	C	D	E	×	合計
事業数	8	2	1	1	0	1	13
%	62%	15%	8%	8%	0%	8%	100%

3 担当部における評価

＜現在の達成状況＞R8目標値に対する達成状況、要因分析、その他実績等

【達成状況】

令和5年度、令和6年度は3計画アンケート未実施

指標②実績値（39.2%→64.1%）令和5年度は世論調査（小規模調査）を実施し、令和4年度を上回った。

【要因分析】

ア 令和4年度から開始した芸術鑑賞体験事業では、全区立小学校5年生を対象に劇団四季の「美女と野獣」の観劇を実施している。児童向けアンケートでは、劇の内容に関心を寄せるもののほか、「舞台上に立ちたいと思った」「ミュージカルに関連する仕事をしたい」など舞台に対して強い興味を示すものもあった。
また、参加した子どもたちの95%が観劇後に家族等と感想を話しており、事業の継続実施が、区の子どもに対する文化芸術事業の評価へつながったと考える。

イ 令和6年度ギャラクシティの「Japan Festa in ADACHI」では、千住宿開宿400年と関連して「江戸時代」をテーマに設定し、施設全体で一体感のあるイベントとなった。しかし、開催日数が2日間であったため、参加者数は7,067人となり、令和5年度（3日間開催）の10,215人から30.8%減となった。

【その他実績等】

ア 令和5年度は朝日信用金庫創立100周年記念「地元応援団」寄附を活用し、子ども向け公演「はらぺこあむしショー」を実施した。公演には区民等を無料招待し、1,400人の定員（700席×2回）へ延べ2,913人の応募があった。

＜今後の方向性＞現在の達成状況を踏まえた今後の方向性等

【短期の取り組み】

ア 小学5年生の芸術鑑賞体験事業は、劇団四季に限らずよりよい演目を精査するなど、引き続き子どもたちが良質な芸術鑑賞を体験できるよう検討する。

【中長期の取り組み】

ア 子どもたちが、楽しく力強く生きていくために、成長段階に応じた文化芸術体験事業を提供する。

＜助言の反映状況＞助言の反映有無、その理由

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。
令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況を記載します。

	全体評価	達成度	方向性	反映状況
4 庁内検討委員会による評価（2次評価）	4	5	3	-

(1) 「現在の達成状況」への評価

ア 子どもの文化的体験は、文科省の調査でも良い影響があると言われている。芸術鑑賞体験事業でのミュージカル鑑賞機会が子どもたちに、舞台演出を提供する側への興味を抱かせるなどの心を動かす体験となったことは評価できる。

イ 「はらぺこあおむしショー」では、令和5年10月の寄附受け入れから令和6年3月のイベントまで、事業の実施が迅速であり評価できる。

(2) 「今後の方向性」への評価

ア 芸術鑑賞体験事業でミュージカル鑑賞をした子の95%が家族等へ感想を話しているとのことで、家族等が子どもと一緒に関心を持つきっかけにもつながると考える。今後も、単に子どもたちが楽しいだけでなく、子どもの心を動かし、家族等の関心も一緒に引き出せるような質の高い演目を選定していただきたい。

(3) 「助言の反映状況」への評価

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。
令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況への評価を記載します。

	全体評価	達成度	方向性	反映状況
5 推進委員会による評価（令和7年●月記載）	4	4	3	-

(1) 「現在の達成状況」への評価

ア 指標②については、達成率も順調に伸びており評価できる。

イ 芸術鑑賞体験事業の実施については、ミュージカルに関する関心高まりや、感想を家族に話すなど、学校の保護者からも聞こえており評価できる。

ウ 「はらぺこあおむしショー」については、参加希望者が応募人数をはるかに上回っており人気がある一方で、応募した半分の方は参加が出来ていないのでより多くの方が子供が小さいころから芸術に触れる機会を増やしてほしいと思う。

(2) 「今後の方向性」への評価

ア 子どもの心の成長に活かせる芸術鑑賞体験事業として、より良い演目などを精査していくことは重要であり評価する

イ 子どもたちを中心とした鑑賞機会の提供は、文化芸術への興味関心を育むうえで極めて重要であり、今後も継続的に実施されることが望ましい。加えて、既存のプログラムに加え、デジタル技術の活用や学びと結びつけた体験型企画など、新たなアプローチによる展開が期待される。これにより、さらに幅広い層への訴求が可能となるだろう。

ウ 中長期の取り組みが漠然としていてもう少し具体的に記載して欲しかった。

(3) 「助言の反映状況」への評価

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。

6 推進委員会評価に対する区の考え方（項番等は「5 推進委員会による評価」に合わせて記載）（令和7年●月記載）

文化芸術計画 施策評価シート（令和6年度実施事業分）

施策の柱	2	区民の活発な文化芸術活動を促進する
施策名	2-1	活動の継続を促す参加・体験の機会を増やす
担当部・課	地域のちから推進部 生涯学習支援室 地域文化課	
担当部：1～3、6を記入	庁内検討委員会：4を記入	推進委員会：5を記入

1 施策の方向性

文化芸術に関する様々な体験や創作活動などを、継続的に行えるように、機会の提供や活動の支援を行っていく。
また、各学習センターにおいて、複合施設という特色を活かし、読書や運動・スポーツ分野の事業と連携することで相互の活動を促進していく。

2 成果指標

※R8は目標値

指標名①	文化芸術関連事業への参加・活動を行った区民の割合							
指標の定義	区政モニター及び3計画アンケートによる調査を実施 これまで文化芸術に関する創作や表現などを体験するイベントや講座に参加したことがある区民の割合							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	15.7%	実績値	15.7%	22.9%	34.9%	50.8%	-	(50.0%)
目標値（R8）	50.0%	達成率	-	45.8%	69.8%	101.6%	-	

指標名②	足立区は参加・体験型の文化芸術事業が多いと感じる区民の割合							
指標の定義	区政モニター及び3計画アンケートによる調査を実施 「足立区は参加・体験型の事業が多いと思うか」という質問を、5段階評価で行い、4と5を回答した人の割合（1：そう思わない～5：そう思う）							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	新規	実績値	新規	22.2%	39.7%	-	-	(70.0%)
目標値（R8）	70.0%	達成率	-	31.7%	56.7%	-	-	

指標名③	足立区の文化芸術事業を評価している区民の割合【再掲】（施策1-1）							
指標の定義	区政モニター及び3計画アンケートによる調査を実施 「足立区の文化芸術事業を評価できると思うか」という質問を、5段階評価で行い、4と5を回答した人の割合（1：そう思わない～5：そう思う）							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	新規	実績値	新規	25.8%	52.4%	-	-	(80.0%)
目標値（R8）	80.0%	達成率	-	32.3%	65.5%	-	-	

指標名④	分野間連携事業の参加により、新たに文化芸術活動を始めた区民の割合							
指標の定義	3分野連携事業の参加者アンケートにおいて、「定期的ではないが文化芸術活動をしています。」以上を選んだ区民の割合							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）		実績値	新規	57.5%	43.8%	53.4%	57.0%	(63.0%)
目標値（R8）	63.0%	達成率	-	91.3%	69.5%	84.8%	90.5%	

施策の手段として位置づける対応事業の達成度分布

進捗度	A	B	C	D	E	x	合計
事業数	3	0	0	0	0	0	3
%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%

3 担当部における評価

＜現在の達成状況＞R8目標値に対する達成状況、要因分析、その他実績等

【達成状況】

令和5年度、令和6年度は3計画アンケート未実施
指標①実績値（34.9%→50.8%）令和5年度は世論調査（小規模調査）を実施し、令和4年度を上回った。なお、令和8年度の目標値（50.0%）も上回った。
指標④実績値（43.8%→53.4%）令和5年度は世論調査（小規模調査）を実施し、令和4年度を上回った。

【要因分析】

ア 学習センターは、趣味教養的な講座に加え、大学との連携により高度で専門的な講座等の多くの事業が実施できた。また、Zoom等を活用したオンライン講座やオンデマンド配信など、ICTを活用した事業も引き続き実施し、多くの区民が参加・体験できる機会を創出し、令和6年度参加者延べ数は107,123人と令和5年度の75,937人から41.1%増となった。
イ 読書や運動に関心を持つ方を文化分野へつなぐ「ちょいカル」は、「ほつかレイトサマー」「伊興ファミリー縁日」などイベントも通じて、これまで接触機会がなかった方へ文化芸術活動の体験機会を創出した。

【その他実績等】

ア 千住ほんちょう商店街等で実施した「1DAYパフォーマンス表現街」では、令和5年度は合計51組、令和6年度は70組のアーティストがパフォーマンスを行い、人と人、人と場所、人とアートが出会う場を創出した。

＜今後の方向性＞現在の達成状況を踏まえた今後の方向性等

【短期の取り組み】

ア 「千住だじやれ音楽祭」では、令和2年に構想した「千住の1010人 from2020年」を千住宿開宿400年にあたる令和7年に実施することを視野に入れ、活動を行っていく。
イ 「ちょいカル」は「ぶちカル」と名称を変更し、継続参加者がこれまで同様に参加できるよう働きかけつつ、施設利用者に対し異なる分野への興味・関心を広げる取り組みを継続していく。

【中長期の取り組み】

ア 区民が文化芸術に関する様々な体験や創作活動などを継続的に行えるよう、機会の提供や活動の支援する。

＜助言の反映状況＞助言の反映有無、その理由

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。
令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況を記載します。

	全体評価	達成度	方向性	反映状況
4 庁内検討委員会による評価（2次評価）	4	4	3	—
(1) 「現在の達成状況」への評価 ア 学習センターでのオンライン講座やオンデマンド配信などの取り組みが区民の文化芸術活動へつながったと考える。「文化芸術関連事業への参加・活動を行った区民の割合」が令和5年度は50.8%と、令和4年度の34.9%から15.9ポイント増加したことは評価できる。 イ 3分野連携事業により、読書・運動に関心を持つ人が文化分野の活動へ触れる機会を創出したことは評価できる。体験機会の創出から活動継続へつなげる支援が大切である。				
(2) 「今後の方向性」への評価 ア 千住宿開宿400年の事業は、多くの方が身近に区の文化や歴史を感じられる機会である。「千住だじゃれ音楽祭」だけでなく、千住地域の枠を越えて地域と連携し、イベントの拡充を期待する。また、千住宿開宿400年をきっかけとして、次につながる事業展開を期待する。				
(3) 「評価の反映状況」への評価 令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。 令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況への評価を記載します。				

	全体評価	達成度	方向性	反映状況
5 推進委員会による評価（令和7年●月記載）	4	4	3	—
(1) 「現在の達成状況」への評価 ア 学習センターにおけるオンライン講座の取り組みは、時間や場所の制約を受けにくい参加環境を提供しており、参加者数の増加という成果にもつながっている点が評価できる。今後もこの成果を継続・拡張していくことが期待される。 イ 「ちょいカル」は、文化・スポーツ・学びの3分野を横断する参加促進の仕組みとして有効に機能しており、地域住民が気軽に参加できる環境づくりに寄与している。				
(2) 「今後の方向性」への評価 ア 千住宿開宿400年にあたる令和7年に関連させる意識した活動は評価できるが、千住だけ一部が盛り上がるのではなく、足立区全体に波及できるようにしてほしい。 イ 歴史的な地域資源との連携をさらに深め、千住宿開宿400年などの記念事業と日常的な参加促進プログラムを有機的に結びつけた新たな展開が図られることを期待したい。 ウ 令和9年度から、ギャラクシティの大型改修により施設が使えなくなるので、その時に今と同じ数の事業が運営できるのかも知りたかった。				
(3) 「助言の反映状況」への評価 令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。				

6 推進委員会助言に対する区の考え方（項番等は「5 推進委員会による助言」に合わせて記載）（令和●年●月記載）

文化芸術計画 施策評価シート（令和6年度実施事業分）

施策の柱	2	区民の活発な文化芸術活動を促進する
施策名	2-2	個人や団体の活動の継続を支援する
担当部・課	地域のちから推進部 生涯学習支援室 地域文化課	
担当部：1～3、6を記入	庁内検討委員会：4を記入	推進委員会：5を記入

1 施策の方向性

個人や団体が定期的に、また継続して活動できるよう、区のサポート機能を強化していく。例えば、区内文化団体との共催・後援により文化活動の活性化を図ることや文化芸術事業への文化芸術振興基金の効果的な活用を進めていく。基金を活用することによって、文化事業の継続実施を図るとともに、虹色寄附金への寄附で文化を支える人と、活動する人をつなぐ役割も持ちます。また、文化芸術の次代の担い手となる若者や団体が、将来活躍するための最初の一步となるよう、経験を積む機会を提供していく。

2 成果指標

※R8は目標値

指標名①	足立区は文化芸術活動を行いやすいまちと感じている区民の割合							
指標の定義	区政モニター及び3計画アンケートによる調査を実施 「足立区は文化芸術活動を行いやすいまちと思うか」という質問を、5段階評価で行い、4と5を回答した人の割合（1：そう思わない～5：そう思う）							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	新規	実績値	新規	21.4%	41.3%	-	-	(80.0%)
目標値（R8）	80.0%	達成率	-	26.8%	51.6%	-	-	

指標名②	足立区は文化芸術活動への支援を十分にできていると感じている区民の割合							
指標の定義	区政モニター及び3計画アンケートによる調査を実施 「足立区は文化芸術活動への支援を十分にできていると思うか」という質問を、5段階評価で行い、4と5を回答した人の割合（1：そう思わない～5：そう思う）							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	新規	実績値	新規	16.3%	31.2%	-	-	(80.0%)
目標値（R8）	80.0%	達成率	-	20.4%	39.0%	-	-	

指標名③	文化芸術に関わる活動をおこなっている区民の割合							
指標の定義	区政モニター及び3計画アンケートによる調査を実施 文化芸術に関わる活動をおこなっている区民の割合							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	12.4%	実績値	12.4%	12.1%	16.9%	39.5%	-	(30.0%)
目標値（R8）	30.0%	達成率	-	40.3%	56.3%	131.7%	-	

施策の手段として位置づける対応事業の達成度分布

進捗度	A	B	C	D	E	×	合計
事業数	7	4	0	0	0	0	11
%	64%	36%	0%	0%	0%	0%	100%

3 担当部における評価

＜現在の達成状況＞R8目標値に対する達成状況、要因分析、その他実績等

【達成状況】
令和5年度、令和6年度は3計画アンケート未実施
指標③実績値（16.9%→39.5%）は3令和5年度は世論調査（小規模調査）を実施し、令和4年度を上回った。なお、令和8年度の目標値（30.0%）も上回った。

【要因分析】
ア 令和5年度の音楽3団体の定期演奏会は観客数が3,655人と令和4年度の3,031人から21%増となった。また、令和6年度観客数は3,745人となり、さらに前年度比6%増となった。
イ 音楽3団体や足立区文化団体連合会以外に区が共催した文化事業は、令和4年度は9事業、令和5年度、6年度はともに10事業であった。区民が活動成果を発表する機会が継続された。

【その他実績等】
ア 将来メジャーでの活躍を目指すアーティストを支援する「エンターテインメントチャレンジャー支援事業（以下えんチャレ）」は区施設のほか、駅や民間施設に申込チラシの設置とSNSでのPRを継続して行い、令和6年度時点では8団体の登録者がある。新規登録者は「中国雑技」の団体であるなど、登録者全体の活動内容もバラエティに富んでいる。
イ 文化芸術団体への事業の後援は、令和5年度は49事業、令和6年度は51事業を行い、地域の継続した文化芸術活動を後押しした。

＜今後の方向性＞現在の達成状況を踏まえた今後の方向性等

【短期の取り組み】
ア えんチャレ登録団体を支援するため、天空劇場に加えて、生涯学習センターや各地域学習センターの会場利用を紹介する。
イ 郷土博物館の講師派遣事業は、以前の企画展の波及効果として、引き続き近隣自治体からも派遣依頼があるため、区内外問わず学びのニーズに応えていく。

【中長期の取り組み】
ア 個人や団体が定期的に、また継続して活動できるよう、区のサポートを強化していく。文化芸術の次世代の担い手となる若者や団体が、将来活躍するための経験を積む機会を提供していく。

＜助言の反映状況＞助言の反映有無、その理由

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。
令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況を記載します。

	全体評価	達成度	方向性	反映状況
4 庁内検討委員会による評価（2次評価）	4	3	4	—
(1) 「現在の達成状況」への評価 ア コロナの5類移行により、多くの区民が文化活動を再開し、その支援ができるようになったと考える。引き続き、区民が活動を行いやすいと感じるよう、文化芸術活動の支援を継続していただきたい。 イ えんチャレ事業ではプロを目指すアーティストを支援することで、にぎわいのある街づくりへの貢献につながるとともに、区民が練習や公演を無料で観ることができ、文化芸術に触れる機会の提供に寄与していると考え。今後もえんチャレ登録団体同士の共演等、活動の活性化を期待する。				
(2) 「今後の方向性」への評価 ア 郷土博物館の講師派遣事業では、文化財などに関心を持つ区民が自主的に専門的な知識を得られる機会を創出している。多くの人に関心を持ってもらえるよう、引き続き活動継続の支援を行ってほしい。				
(3) 「助言の反映状況」への評価 令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。 令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況への評価を記載します。				

	全体評価	達成度	方向性	反映状況
5 推進委員会による評価（令和7年●月記載）	4	4	3	—
(1) 「現在の達成状況」への評価 ア 指標③の増は、定期演奏会や区が共催した各種文化事業などの取り組み成果が現れていると評価する。 イ えんチャレ事業においては、チャレンジャーの更なる活動の活性化と支援を図ってほしい。 ウ 文化団体への後援が令和5年、6年と徐々に増えている点を評価したい。これからも、区で活躍する文化芸術団体を応援して欲しい。 エ 区内の音楽団体3団体による定期演奏会は、地域に根ざした音楽活動の活性化が図られ、日常的に質の高い音楽芸術に触れることができる環境が整いつつある点が高く評価できる。				
(2) 「今後の方向性」への評価 ア えんチャレの新規登録者に「中国雑技」の団体が入ったが、今後も多様なチャレンジャーが出るよう広報も行ってほしい。制度の活用方法や得られる支援、ネットワークの利点などを明確に伝えることで、新たな登録や活動参加を促進し、地域全体の文化活動の底上げにつながることが期待される。 イ 郷土博物館がリニューアルオープンしたが、地域的にも離れたところから来場できない方もいるため、所有物の巡回展示などにも期待する ウ 短期の取り組みも中長期の取り組みも具体的に記載されている点を評価したい。				
(3) 「助言の反映状況」への評価 令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。				

6 推進委員会評価に対する区の考え方（項番等は「5 推進委員会による評価」に合わせて記載）（令和7年●月記載）

文化芸術計画 施策評価シート（令和6年度実施事業分）

施策の柱	2	区民の活発な文化芸術活動を促進する
施策名	2-3	活動の成果を発揮できるイベントを開催する
担当部・課	地域のちから推進部 生涯学習支援室 地域文化課	
担当部：1～3、6を記入	庁内検討委員会：4を記入	推進委員会：5を記入

1 施策の方向性

個人または仲間と共に作り上げてきた作品を発表する場を設けることは、活動を継続する上での糧となる。目標を持つことで充実した活動を行う動機付けとなるように、区民との協創を図りつつ、区民のニーズに合った発表の場を作っていく。

2 成果指標

※R8は目標値

指標名①	足立区は活動の成果を発揮できる機会が十分にあると感じている区民の割合							
指標の定義	区政モニター及び3計画アンケートによる調査を実施 「足立区は文化芸術活動の成果を発揮できる機会が十分にあると思うか」という質問を、5段階評価で行い、4と5を回答した人の割合（1：そう思わない～5：そう思う）							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	新規	実績値	新規	20.2%	39.2%	52.3%	-	(70.0%)
目標値（R8）	70.0%	達成率	-	28.9%	56.0%	74.7%	-	

指標名②	足立区の文化芸術事業を評価している区民の割合【再掲】							
指標の定義	区政モニター及び3計画アンケートによる調査を実施 「足立区の文化芸術事業を評価できると思うか」という質問を、5段階評価で行い、4と5を回答した人の割合（1：そう思わない～5：そう思う）							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	新規	実績値	新規	25.8%	52.4%	-	-	(80.0%)
目標値（R8）	80.0%	達成率	-	32.3%	65.5%	-	-	

指標名③								
指標の定義								
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）		実績値						
目標値（R8）		達成率						

施策の手段として位置づける対応事業の達成度分布

進捗度	A	B	C	D	E	×	合計
事業数	1	4	0	0	0	0	5
%	20%	80%	0%	0%	0%	0%	100%

3 担当部における評価

＜現在の達成状況＞R8目標値に対する達成状況、要因分析、その他実績等

【達成状況】
令和5年度、令和6年度は3計画アンケート未実施
指標①実績値（39.2%→52.3%）は3計画アンケート未実施のため、令和5年度は世論調査（小規模調査）を実施し、令和4年度を上回った。
指標②は再掲（施策1-1） 令和5年度、令和6年度は未実施

【要因分析】
ア 「サークルフェア・ふれあい祭り」は、全てのセンターで実施し、登録団体等の日頃の活動成果の発表および地域との交流の場となった。令和5年度来場者は39,722人と令和4年度の14,133人から181%増となったが、令和6年度は39,413人と0.7%減であった。
イ あだち区展・美遊展・文化祭などの共催事業については、令和5年度は21イベントであったが、令和6年度は18イベントとなった。区民の文化活動の成果発表が継続でき、機会の創出につながったと分析する。

【その他実績等】
ア 令和6年度、ADACHI障がい者アート展では展示物だけでなく5年ぶりの式典や、合唱、合奏、ダンスなどの「ふれあい発表会」を開催した。また、令和5年度から新たに発信した作品制作者へのインタビュー記事および動画も引き続き作成した。
イ 「大ひょうげん」では、子どもたちが5日間、ミュージカル「アルプスの少女ハイジ」を練習し西新井文化ホールで発表した。また、マジックなどの公演「THE GREATEST ENTERTAINMENT SHOW3」とコラボし、チアダンス体験・アイドル体験に分かれて練習を重ねショーに参加した。なお、令和6年度に参加した子どもの数は1,468人と令和5年度の1,530人から4%減となった。

＜今後の方向性＞現在の達成状況を踏まえた今後の方向性等

【短期の取り組み】
ア あだち区展・美遊展・文化祭などのイベントを通じて活動成果の発表の場を設け、区民の自発的な文化事業の創出につなげる。
イ 「大ひょうげん」では、引き続き子どもに人気な演目などを取り入れながら事業を実施する。

【中長期の取り組み】
ア 区民が充実した活動を行う動機づけとなるような文化芸術活動の目標を持てるよう、区民との協創を図りつつ、ニーズに合った発表の場を作っていく。

＜助言の反映状況＞助言の反映有無、その理由

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。
令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況を記載します。

	全体評価	達成度	方向性	反映状況
4 区内検討委員会による評価（2次評価）	4	4	3	—
(1) 「現在の達成状況」への評価 ア あだち区展およびADACHI障がい者アート展では、作品制作者へのインタビュー記事などを区ホームページに掲載したとのことで令和5年度の閲覧数は大きく増加していた（令和5年度閲覧数4,864回。前年度比116%増）が、令和6年度閲覧数は1,863回と前年度から61.7%減であった。インタビュー記事の掲載は、作品をウェブ上で観覧するきっかけになるとともに、制作者の活動の動機付けにもつながると考え評価できるため、今後の閲覧数増につながるよう期待する。 イ 「大ひょうげん」は、子どもたちがプロの技に触れ、表現する喜びを体験し、芸術活動の楽しさと伝統芸能を学べる貴重な事業であり、多くの子どもたちが参加したことは評価できる。				
(2) 「今後の方向性」への評価 ア あだち区展・美遊展・文化祭など、今後とも区民の自発的な活動が継続できるよう、広報や後援などの支援とともに、成果を発揮できる機会を拡充してほしい。				
(3) 「助言の反映状況」への評価 <u>令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。</u> <u>令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況への評価を記載します。</u>				

	全体評価	達成度	方向性	反映状況
5 推進委員会による評価（令和7年●月記載）	3	3	3	—
(1) 「現在の達成状況」への評価 ア 「ふれあい祭り」は令和4年度よりも令和5年度により多くの方が参加できている点を評価したい。 イ 「ADACHI障害者アート展」や「大ひょうげん」といった事業を通じて、障害のある方々や子どもたちなど、多様な人々が主体的に参加できる機会が充実しており、インクルーシブな文化環境の醸成に貢献している。				
(2) 「今後の方向性」への評価 ア 区外へ鑑賞に出かけたり、作品づくりをしている方でも、区の関連するイベントや団体に参加していない方が障がい者も含めて存在する。団体以外の個人からも足を運んでもらったり作品を出すような裾野の拡充を図ってほしい。 イ 共催イベントについて、令和5年度に21イベントだったものが令和6年度に18イベントになったとあるが、この現象には高齢化などの問題があるように感じる。短期や中長期の取り組みの中で、少子高齢化などの社会事情について区がどのようにアプローチしていくかについて記載があると更に良かったように思う。 ウ 既存の優れた取り組みをさらに広げ、参加者層の拡大と地域全体の文化活性化につなげていくことが望まれる。				
(3) 「助言の反映状況」への評価 <u>令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。</u>				

6 推進委員会評価に対する区の考え方（項番等は「5 推進委員会による評価」に合わせて記載）（令和7年●月記載）

文化芸術計画 施策評価シート（令和6年度実施事業分）

施策の柱	3	足立区の文化資源を次世代に継承する
施策名	3-1	文化財・文化遺産を調査し、保存・活用する
担当部・課	地域のちから推進部 生涯学習支援室 地域文化課	
担当部：1～3、6を記入	庁内検討委員会：4を記入	推進委員会：5を記入

1 施策の方向性

有形・無形を問わず、文化財・文化遺産を保護し、次の世代へ残していくための取り組みを行う。区に残る貴重な文化資源が消失してしまわぬように、区民や歴史研究者、郷土博物館協働グループなどの協力を得ながら、調査・収集・保存に努める。また、区内外を問わず人々の関心を引くPR方法を取り入れながら、積極的に活用していく。

2 成果指標

※R8は目標値

指標名①	足立区の文化財や伝統芸能に触れたことのある区民の割合							
指標の定義	区政モニター及び3計画アンケートによる調査を実施 足立区内や住む地域の伝統芸能や文化財などを鑑賞したことがある区民の割合							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	40.8%	実績値	40.8%	37.7%	44.5%	40.5%	-	(70.0%)
目標値（R8）	70.0%	達成率	-	53.9%	63.6%	57.9%	-	

指標名②	足立区の文化財・文化遺産・伝統文化を誇りに思う区民の割合							
指標の定義	区政モニター及び3計画アンケートによる調査を実施 足立区の文化財・文化遺産・伝統文化を誇りに思う区民の割合							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	新規	実績値	新規	31.6%	55.6%	60.0%	-	(70.0%)
目標値（R8）	70.0%	達成率	-	45.1%	79.4%	85.7%	-	

指標名③								
指標の定義								
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）		実績値						
目標値（R8）		達成率						

施策の手段として位置づける対応事業の達成度分布

進捗度	A	B	C	D	E	×	合計
事業数	2	0	1	2	0	2	7
%	29%	0%	14%	29%	0%	29%	100%

3 担当部における評価

＜現在の達成状況＞R8目標値に対する達成状況、要因分析、その他実績等

【達成状況】
指標①実績値（44.5%→40.5%）は3計画アンケート未実施のため、令和5年度は世論調査（小規模調査）を実施し、令和4年度を下回った。
指標②実績値（55.6%→60.0%）は3計画アンケート未実施のため、令和5年度は世論調査（小規模調査）を実施し、令和4年度を上回った。

【要因分析】
ア 休館中の博物館事業PRとして出張展示等を行っており、区民が文化財を鑑賞する機会の創出を継続している。令和5年度に実施した出張展示「横山家住宅」では会場が足立区登録文化財ということもあり、展示品および同住宅に対する関心の高さがうかがえ、2日間でのべ918人の来場者があった。
イ 登録有形文化財の「舎人氷川神社本殿」では、12年ぶりの御開帳が催されたことに伴い、区学芸員が解説者として協力し、2日間で約2,100人の来場者があった。
ウ ア、イを受けて、過去の足立区の高い文化水準や、区の美術品の高い文化的な価値が事業を通じて区民へ伝わり、誇りへとつながったと考える。

【その他実績等】
ア 令和6年3月に刊行した文化遺産調査マンガ「ビビビ美アダチ」とタイアップし、電子展覧会を開催した。電子展覧会では、郷土博物館リニューアルに先駆け、新常設展示の資料を紹介するなど、今後の機運醸成を図った。
イ 伊興遺跡公園展示館での古代のものづくりイベントでは、子どもたちが勾玉づくりや火起こし体験をしながら古代を学ぶ機会を創出し、参加者はのべ1,211人と、令和5年の1,080人から28%増であった。

＜今後の方向性＞現在の達成状況を踏まえた今後の方向性等

【短期の取り組み】
ア 郷土博物館では、リニューアルオープニングイベントを契機に、千住宿開宿400年を盛り上げる展示などを検討し、千住宿開宿400年に向けた機運の醸成を図る。
イ 区文化財の保護と利活用の指針となる行動計画を令和7年度中に策定していくことで、貴重な文化財の減失・散逸等を防止していく。

【中長期の取り組み】
ア 区民や歴史研究者、郷土博物館協働グループなどの協力を得ながら、調査・収集・保存に努める。また、区内外を問わず人々の関心を引くPR方法を取り入れながら、積極的に活用していく。

＜助言の反映状況＞助言の反映有無、その理由

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。
令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況を記載します。

	全体評価	達成度	方向性	反映状況
4 庁内検討委員会による評価（2次評価）	5	5	4	—
(1) 「現在の達成状況」への評価 ア 約2,100人の来場者があった「舎人氷川神社本殿御開帳」への解説協力など、タイミングを逃さず事業展開を行ったことによって、区民へ広く周知し、関心を得られたと考える。千住宿開宿400周年に向けても、郷土博物館の働きかけにより大いに盛り上げてほしい。 イ 「足立区の文化財や伝統芸能に触れたことのある区民の割合」は減少しているので、引き続き、郷土博物館休館中の出張展示などを継続して、区民が触れる機会を創出していただきたい。 ウ 郷土博物館の「電子展覧会」は、来館できない方もバーチャル体験により臨場感を味わいながら文化財を鑑賞できるものである。継続して興味を引き出すような、計画的な内容の更新に期待する。				
(2) 「今後の方向性」への評価 ア 郷土博物館による千住宿開宿400年を盛り上げる企画では、これまで郷土博物館へ関心がなかった方も興味を引かれるような、目新しい展開に期待する。 イ 文化財の保護と利活用の指針となる行動計画では、地域の歴史や文化の礎となる貴重な文化財を未来に継承するための制度の整備を期待する。				
(3) 「助言の反映状況」への評価 令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。 令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況への評価を記載します。				

	全体評価	達成度	方向性	反映状況
5 推進委員会による評価（令和7年●月記載）	4	4	4	—
(1) 「現在の達成状況」への評価 ア 郷土博物館を中心に区内の歴史的文化資源を活用している点を評価したい。 イ より多くの子ども達が区内の文化に親しめるよう郷土博物館を見学できる事業を行って欲しいと思う。 ウ 「舎人氷川神社本殿」では約2,100人もの来場者を記録するなど、区民をはじめとした来訪者の関心の高さがうかがえる。こうした文化財の一般公開やイベント化による利活用の成果は、地域文化への理解と誇りを醸成する点で非常に意義深い取り組みである。				
(2) 「今後の方向性」への評価 ア 郷土博物館が所有する貴重な文化財の更なる活用をしてほしい。そのためにも区内外の機関や個人にも協力してもらいながら充実させてほしい。 イ 千住宿開宿400年に関連する展示を通じて、もっと郷土博物館の存在を知ってもらい、区民により足を運んでもらえるよう努めてほしい。 ウ 短期の取り組みについて、千住宿のイベントとコラボして行うなど具体的に記載している点を評価したい。 エ 文化財の見学イベントに加え、文化財の魅力を多角的に体感できる取り組みとして、見学と体験を融合させたプログラムの拡充が期待される。				
(3) 「助言の反映状況」への評価 令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。				

6 推進委員会評価に対する区の考え方（項番等は「5 推進委員会による評価」に合わせて記載）（令和7年●月記載）

文化芸術計画 施策評価シート（令和6年度実施事業分）

施策の柱	3	足立区の文化資源を次世代に継承する
施策名	3-2	地域の伝統芸能を継承・活性化させる
担当部・課	地域のちから推進部 生涯学習支援室 地域文化課	
担当部：1～3、6を記入	庁内検討委員会：4を記入	推進委員会：5を記入

1 施策の方向性

地域で受け継がれてきた伝統文化を知ることは、地域への愛着や誇りの醸成につながる。文化芸術団体の活動や地域のお祭り・お囃子など、足立区に根付いている魅力的な伝統文化の継承・活性化を支援していく。

2 成果指標

※R8は目標値

指標名①	足立区の文化財や伝統芸能に触れたことのある区民の割合【再掲】（施策3-1）							
指標の定義	3計画アンケートによる調査を実施 足立区内や住む地域の伝統芸能や文化財などを鑑賞したことがある区民の割合							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	40.8%	実績値	40.8%	37.7%	44.5%	40.5%	-	(70.0%)
目標値（R8）	70.0%	達成率	-	53.9%	63.6%	57.9%	-	

指標名②	足立区の文化財・文化遺産・伝統文化を誇りに思う区民の割合【再掲】（施策3-1）							
指標の定義	3計画アンケートによる調査を実施 足立区の文化財・文化遺産・伝統文化を誇りに思う区民の割合							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	新規	実績値	新規	31.6%	55.6%	60.0%	-	(70.0%)
目標値（R8）	70.0%	達成率	-	45.1%	79.4%	85.7%	-	

指標名③								
指標の定義								
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）		実績値						
目標値（R8）		達成率						

施策の手段として位置づける対応事業の達成度分布

進捗度	A	B	C	D	E	×	合計
事業数	1	0		1	0	0	2
%	50%	0%	0%	50%	0%	0%	100%

3 担当部における評価

＜現在の達成状況＞R8目標値に対する達成状況、要因分析、その他実績等

【達成状況】

指標①実績値（44.5%→40.5%）は3計画アンケート未実施のため、令和5年度は世論調査（小規模調査）を実施し、令和4年度を下回った。

指標②実績値（55.6%→60.0%）は3計画アンケート未実施のため、令和5年度は世論調査（小規模調査）を実施し、令和4年度を上回った。

【要因分析】

ア 「伝統文化親子教室」は区内14箇所で開催し、参加者は301人と令和5年度の234人から28.6%増となった。

イ 「郷土芸能大会」では、16団体が出演し、区内のお囃子や獅子舞の発表と鑑賞の機会を創出した。そのほか、しょうぶまつり、区民祭りにおいてもお囃子演奏や体験を行い、来場者へ鑑賞の機会を提供した。

【その他実績等】

ア 「Japan Festa in ADACHI」では、足立区にまつわるオリジナル脚本の浅野温子氏による読み語りなど、子どもたちが地域の愛着や誇りの醸成につながるような機会を提供した。

＜今後の方向性＞現在の達成状況を踏まえた今後の方向性等

【短期の取り組み】

ア お囃子演奏などの機会を千本桜まつりや、しょうぶまつり、区民まつり等のイベントや、リニューアル後の郷土博物館を会場として提供する。

イ 文化庁事業「伝統文化親子教室」の申請サポートを引き続き行い、子どもたちの体験機会を確保することで、地域への愛着や誇りの醸成につなげる。

【中長期の取り組み】

ア 文化芸術団体の活動や地域のお祭り・お囃子など、区に根付いている魅力的な伝統文化の継承・活性化を支援していく。

＜助言の反映状況＞助言の反映有無、その理由

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。
令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況を記載します。

	全体評価	達成度	方向性	反映状況
4 庁内検討委員会による評価（2次評価）	3	3	3	—
(1) 「現在の達成状況」への評価 ア 「足立区の文化財・文化遺産・伝統芸能を誇りに思う区民の割合」は増加しているものの、「文化財や伝統芸能に触れたことのある区民の割合」は減少している。郷土博物館のリニューアルオープン以降は「郷土芸能鑑賞会」を再開させるなど、引き続き文化財や伝統芸能の鑑賞と体験ができる機会を提供してほしい。 イ 「Japan Festa in ADACHI」は、子どもたちが歌舞伎や能などの伝統文化を体験できる機会であり、足立区にまつわるオリジナル脚本の読み語りなど、地域への愛着や興味へつなげる事業と考えられ評価できる。				
(2) 「今後の方向性」への評価 ア 区内の大きなイベントでお囃子などの演奏機会を提供することは、区民が伝統芸能などに気軽に触れられる貴重な機会の創出であり、次世代の継承につなげるためにも実施を期待する。				
(3) 「助言の反映状況」への評価 令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。 令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況への評価を記載します。				

	全体評価	達成度	方向性	反映状況
5 推進委員会による評価（令和7年●月記載）	3	3	3	—
(1) 「現在の達成状況」への評価 ア 伝統文化親子教室・郷土芸能大会・しょうぶまつり、区民祭りでの鑑賞機会の提供などの取組みは評価できる。 イ 「伝統文化親子教室」は家庭内での文化継承のきっかけにもなっており、次世代への伝統文化の継承という観点からも大変意義深い。引き続き安定的な開催とともに、参加枠や開催回数の拡大も期待される。				
(2) 「今後の方向性」への評価 ア 人口も増え転入者も多い、次世代への承継含め伝統芸能などの鑑賞と体験ができる機会を増やすようにしてほしい。 イ 中長期の取り組みについて、すでに少子高齢化が進んできている中で区がどのように伝統文化の継承・活性化を行っていくかも具体的に記載して欲しかった。 ウ 日本の伝統芸能は、単なる文化的教養にとどまらず、地域住民が自らの文化的ルーツや誇りを再認識する機会を提供するものであり、シビックプライド（地域への愛着や誇り）の醸成に大きく寄与する。今後は学校・地域団体との連携を含め、より多様な形式・対象での事業展開を図り、地域ぐるみで伝統芸能に触れられる環境づくりが期待される。				
(3) 「助言の反映状況」への評価 令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。				

6 推進委員会評価に対する区の考え方（項番等は「5 推進委員会による評価」に合わせて記載）（令和7年●月記載）

文化芸術計画 施策評価シート（令和6年度実施事業分）

施策の柱	4	文化芸術の輪を広げるプラットフォームを形成する
施策名	4-1	足立区の文化的な魅力を効果的に情報発信する
担当部・課	地域のちから推進部 生涯学習支援室 地域文化課	
担当部：1～3、6を記入	庁内検討委員会：4を記入	推進委員会：5を記入

1 施策の方向性

文化芸術を身近に感じるためには、文化芸術に関する情報の充実も重要な要素となる。したがって、区内の文化芸術に関連する情報の集約を図りながら、広報紙やICTの活用により人々の関心を引く効果的な情報発信を行う。また、各学習センターにおいて、複合施設という特徴を活かし、3分野に関する情報を一体的に分かりやすくまとめ、情報誌やSNSを使った情報発信、スタッフとのコミュニケーションなど、より効果的な手法を選択して区民に届けていく。

2 成果指標

※R8は目標値

指標名①	文化芸術に関する情報発信に満足している区民の割合								
指標の定義	施設利用者アンケート及びイベント参加者アンケートにより実施 「文化芸術に関する区の情報発信に満足しているか」という質問を、５段階評価で行い、４と５を回答した人の割合（１：満足でない ～ ５：満足である）								
			H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	新規	実績値	新規	18.8%	28.6%	46.7%	－		(80.0%)
目標値（R8）	80.0%	達成率	－	23.5%	35.8%	58.4%	－		

指標名②	足立区は文化芸術に親しめるまちと感じている区民の割合【再掲】（施策1-1）								
指標の定義	区政モニター及び3計画アンケートによる調査を実施 「足立区は文化芸術に親しめるまちであると思うか」という質問を、5段階評価で行い、4と5を回答した人の割合（1：そう思わない～5：そう思う）								
			H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	新規	実績値	新規	30.3%	－	－	－		(80.0%)
目標値（R8）	80.0%	達成率	－	37.9%	－	－	－		

指標名③	情報の集約及び効果的情報発信								
指標の定義	ホームページに掲載したイベント数の年間アクセス数 「区ホームページ内の文化芸術に関連するイベントページが一年間で閲覧された数」								
			H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	新規	実績値	新規	41,583回	54,151回	71,433回	73,913回		(60,000回)
目標値（R8）	60,000回	達成率	－	69.3%	90.3%	119.1%	123.2%		

施策の手段として位置づける対応事業の達成度分布

進捗度	A	B	C	D	E	×	合計
事業数	5	0	0	0	0	0	5
%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%

3 担当部における評価

＜現在の達成状況＞R8目標値に対する達成状況、要因分析、その他実績等	
【達成状況】 令和5年度、令和6年度は3計画アンケート未実施 指標①実績値（28.6%→46.7%）は令和5年度は世論調査（小規模調査）を実施し、令和4年度を上回った。 指標③は、（545,151回→71,433回）は、令和4年度を上回った。なお、令和8年度の目標値（60,000回）も上回った。 【要因分析】 ア 区ホームページの閲覧数は、全体的なイベント数が増加したことに加え、郷土博物館（9,809回）ではリニューアルオープンの情報や、休館中出張展示、「ビビビ美アダチ」刊行など、様々なページへのアクセスがあった。また、ADACHI障がい者アート（7,474回）は令和5年度の受賞者インタビュー記事や動画も引き続き掲載しており、令和6年度受賞者と合わせての閲覧があった。金工展では新たにワークショップを実施し、申込希望者等の閲覧数（4,691回）があり、アクセス数増につながった。 【その他実績等】 ア マンガを情報発信ツールの一つとして活用し、郷土博物館から「ビビビ美アダチ」を書籍として発刊した。郷土博物館を知らない方でも郷土博物館に興味を持ってもらえるよう、SNSや区長ブログの掲載などにより効果的な情報発信を図った。 イ 学習センターのミニコミ紙の発行に加え、SNSを活用して各センターの情報をタイムリーに発信している。LINEやInstagramを新たに導入するなどの取り組みにより、令和6年度はフォロワー数は14,101人と令和5年度の10,774から30.9%増となった。	
＜今後の方向性＞現在の達成状況を踏まえた今後の方向性等	
【短期の取り組み】 ア 千住宿開宿400年を契機としたグッズなどの展開の際に、郷土博物館をPRし、郷土博物館への無関心層に関心を持ってもらうよう図る。 【中長期の取り組み】 ア 区内の文化芸術に関連する情報の集約を図りながら、広報紙やICTの活用により人々の関心を引く効果的な情報発信を行う。	
＜助言の反映状況＞助言の反映有無、その理由	
令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。 令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況を記載します。	

	全体評価	達成度	方向性	反映状況
4 庁内検討委員会による評価（2次評価）	3	3	3	—
(1) 「現在の達成状況」への評価 ア 休館中の郷土博物館関連ホームページに多くのアクセスがあったことから、区民の潜在的な文化遺産等への関心がうかがえる。今後も区の所蔵する文化遺産等への周知につなげてほしい。 イ 各地域学習センターでのSNS発信に新たな発信ツールを追加したことは評価できる。今後の継続的な情報の更新などにも留意されたい。 (2) 「今後の方向性」への評価 ア 千住宿開宿400年の事業では、ロゴを使うことによって、より統一した表現での周知が可能である。関連する様々な事業が当事業に該当することが区民にわかるよう周知することが大切である。 (3) 「助言の反映状況」への評価 令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。 令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況への評価を記載します。				

	全体評価	達成度	方向性	反映状況
5 推進委員会による評価（令和7年●月記載）	3	3	3	—
(1) 「現在の達成状況」への評価 ア 指標③は、令和4年度を上回り、令和8年度の目標値（60000回）も上回ったことは評価する。マンガを情報発信のツールの一つとして活用したり、SNSの取組みも評価できる。 イ 引き続きSNSなど様々な方法で周知を行って欲しいと思う。 ウ 学習センターが発行するミニコミ紙において、近年デザインの改善が図られたことは、視認性や親しみやすさの向上につながっており、情報伝達力の強化という点で大きな成果を上げている。区民にとって有益な情報が届きやすくなっている点は高く評価できる。 (2) 「今後の方向性」への評価 ア 足立区の新住民も多いので、郷土博物館のPRや身近な地域の文化的魅力を学習センターのミニコミ紙などでも紹介するなど、指定管理者とも連携協力して、PRすることに期待したい。 イ 短期の取り組みについて、千住宿開宿400年を契機としたグッズ販売の際に関連して郷土博物館を紹介するなどの周知の方法は良いと思う ウ 区民により親しみを持ってもらい、文化・学習活動への関心を高めていくためには、目を引くキャッチコピーの工夫や、オリジナルグッズの活用など、日常的に接点を持てる仕掛けが効果的である。広報を単なる告知手段としてではなく、文化への入り口とするような発想で、今後さらに創造的かつ柔軟なアプローチが展開されることを期待したい。 (3) 「助言の反映状況」への評価 令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。				

6 推進委員会評価に対する区の考え方（項番等は「5 推進委員会による評価」に合わせて記載）（令和7年●月記載）

文化芸術計画 施策評価シート（令和6年度実施事業分）

施策の柱	4	文化芸術の輪を広げるプラットフォームを形成する
施策名	4-2	連携及び交流の機会を充実し、文化芸術の推進を図る
担当部・課	地域のちから推進部 生涯学習支援室 地域文化課	
担当部：1～3、6を記入	庁内検討委員会：4を記入	推進委員会：5を記入

1 施策の方向性

国の文化芸術推進基本計画では、「民間団体との連携を強化するなど、様々な主体と協調して、地方公共団体における文化芸術振興による創造性豊かな地域づくりを推進することも重要である。」とされている。 足立区内においても、様々なジャンルのアーティストや伝統ある文化芸術団体、私設の文化施設など、文化芸術に関する専門的な知識や技術を持つ主体が活躍している。それらの主体がゆるやかにつながるプラットフォームを形成し、足立区の文化芸術の活性化を図る。
--

2 成果指標

※R8は目標値

指標名①	足立区の連携事業及び交流の機会が充実していると感じている区民の割合							
指標の定義	施設利用者アンケート及びイベント参加者アンケートにより実施 「足立区の連携事業及び交流の機会が充実していると思うか」という質問を、5段階評価で行い、4と5を回答した人の割合（1：充実していない～5：充実している）							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	新規	実績値	新規	15.2%	23.8%	-	-	(70.0%)
目標値（R8）	70.0%	達成率	-	21.7%	34.0%	-	-	

指標名②	足立区は文化芸術の推進に力を入れていると感じている区民の割合							
指標の定義	区政モニター及び3計画アンケートによる調査を実施 「足立区は文化芸術の推進に力を入れていると思うか」という質問を、5段階評価で行い、4と5を回答した人の割合（1：そう思わない～5：そう思う）							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	新規	実績値	新規	21.2%	39.7%	-	-	(70.0%)
目標値（R8）	70.0%	達成率	-	30.3%	56.7%	-	-	

指標名③	足立区の文化芸術の推進施策を評価できると感じている区民の割合							
指標の定義	区政モニター及び3計画アンケートによる調査を実施 「足立区の文化芸術の推進施策を評価できると思うか」という質問を、5段階評価で行い、4と5を回答した人の割合（1：そう思わない～5：そう思う）							
		H30	R3	R4	R5	R6	R7	R8
現状値（H30）	新規	実績値	新規	19.1%	37.6%	53.4%	-	(70.0%)
目標値（R8）	70.0%	達成率	-	27.3%	53.7%	76.3%	-	

施策の手段として位置づける対応事業の達成度分布

進捗度	A	B	C	D	E	×	合計
事業数	5	0	0	0	0	0	5
%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%

3 担当部における評価

＜現在の達成状況＞R8目標値に対する達成状況、要因分析、その他実績等
【達成状況】 令和5年度、令和6年度は3計画アンケート未実施 指標③実績値（37.6%→53.4%）については3計画アンケート未実施のため、令和5年度は世論調査（小規模調査）を実施し、令和4年度を上回った。 【要因分析】 ア 国立劇場との協定によるシアター1010での文楽公演や文楽講座のほか、郷土博物館による古民家での出張展示など話題性の高い事業の実施と、令和5年度のIOKYO MXによる伊興遺跡公園での韓式土器の区長紹介や、 <u>区の文化遺産が令和4年度の美術誌「国華」に掲載されるなどの宣伝効果が、施策を評価する区民の割合に影響をが向上したと考えられる。</u> 【その他実績等】 ア 文化サロン「仲町の家」では、年間を通し土・日・月・祝日に開室。歴史ある日本家屋に着想を得たアーティストや学生等によって開催されたパイロットプログラムは過去最高となる合計28事業と、 <u>令和5年度の23事業から21.7%増となった。</u> また、主催事業の各プログラムの会場や企画相談窓口として活用されたほか、新規事業として未就学児と保護者を対象とした「マンデー・ベビー・コンサート」を12回開催した。 イ 生涯学習振興公社が発行するパンフレットは、令和5年度にはデザインを刷新し、 <u>5つの民間文化施設を会場とした「動画で見るコンサートinミュージアム」のQRコードを加えるなど、民間文化施設を支援した。</u> ウ <u>東京藝術大学と連携し、ギャラクシティの「まるちたいけんドーム」（プラネタリウム）でアウトリーチコンサートを実施した。</u> 「音楽」と「星空」のコラボにより定員170名の募集枠に494名の応募があった。
＜今後の方向性＞現在の達成状況を踏まえた今後の方向性等
【短期の取り組み】 ア 平成23年から令和5年2月まで86回に渡り実施した「アートリンクカフェ」では、多くのアーティストたちとの交流が生まれ様々な発想が生まれた。そこでの交流から、足立ゆかりのアーティスト達による「アートリンクフェスティバル」をギャラクシティにて開催し、ワークショップやアーティストの共演などを実施する。 【中長期の取り組み】 ア 区内の様々なジャンルのアーティストや伝統ある文化芸術団体、民間文化施設など、文化芸術に関する専門的な知識や技術を持つ主体がゆるやかに連携し、区の文化芸術が活性化するよう図る。
＜助言の反映状況＞助言の反映有無、その理由
令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。 令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況を記載します。

	全体評価	達成度	方向性	反映状況
4 庁内検討委員会による評価（2次評価）	3	3	2	—

(1) 「現在の達成状況」への評価

ア 令和5年度は3分野アンケートは行っていないが、「足立区の連携事業および交流の機会が充実していると感じている区民の割合」の過去の結果は目標値と乖離があるように感じる。区民のニーズや事業の方向性などを精査しながら、指標や目標値の検討が必要ではないか。

イ 東京藝術大学と連携したアウトリーチコンサートには定員を大きく超える応募があり、質の高い音楽を身近で触れられる機会に魅力があると感じる。今後も事業を継続するなかで、さらに大きな会場での実施など多くの区民が楽しめる展開を期待する。

(2) 「今後の方向性」への評価

ア 伝統芸能保存会や文化団体連合会、音楽団体、民間文化施設など、既にあるプラットフォームを活性化し、創造性豊かな地域づくりに向けて取り組んでほしい。

(3) 「助言の反映状況」への評価

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。
令和7年度に、外部評価を実施し、令和8年度に、令和7年度実施事業分として、評価の反映状況への評価を記載します。

	全体評価	達成度	方向性	反映状況
5 推進委員会による評価（令和7年●月記載）	3	3	3	—

(1) 「現在の達成状況」への評価

ア 東京藝大との連携した事業など定員を大きく超える応募があるが、人気のある事業には枠を増やしてより多くの区民が参加できるように工夫して欲しいと思う。

イ 専門性と質の高い文化機関と連携した取り組みが展開され、多くの区民に多彩な文化芸術事業が届けられている点は非常に高く評価できる。一方で、アンケート結果で認知度や参加意欲が低調である点は、広報・発信手法や参加者層の拡大において引き続き工夫が必要であることを示している。事業の質に見合った参加・周知の在り方が今後の課題といえる。

(2) 「今後の方向性」への評価

ア 区内の様々なジャンルのアーティストや伝統ある文化芸術団体、民間文化施設など、文化芸術に関する人材などがゆるやかに連携を図ることによる活性化を目指すことは評価できる。但し、個々のお立場、活動の負担にならぬよう配慮してほしい。

イ 短期の取り組みについて、ギャラクシティにて「アートリンクフェスティバル」を開催予定とあるが、ギャラクシティの改修工事中の取り組みなども記載して欲しかった。

ウ 地域の民間アート団体との連携を活性化させるうえで、行政と個別団体のあいだを橋渡しするような中間支援的な組織や仕組みの存在が重要だと感じられる。マッチング、情報共有、人材育成、ネットワーク形成などを担う中間団体が機能すれば、地域の多様な文化活動の底上げと、区全体の文化力の強化につながる。今後の組織設計や制度整備において、こうした視点が取り入れられることを期待したい。

(3) 「助言の反映状況」への評価

令和6年度については、推進委員会による外部評価を実施していないため、空欄となります。

6 推進委員会評価に対する区の考え方（項番等は「5 推進委員会による助言」に合わせて記載）（令和7年●月記載）

アンケート調査項目一覧（16歳以上用） 新旧対照表（案）

資料 4

令和 3 年度				令和 7 年度（案）							
	設問	ねらい			設問	ねらい	分類				備考
							追加	継続	変更	削除	
	性・年代等の基本属性について			性・年代等の基本属性について							
1	性別	分析軸として活用します。（例：年代、年代-性別 等）	→	1	性別	分析軸として活用します。（例：年代、年代-性別 等）		○			
2	年代（5 歳年齢階級）	分析軸として活用します。（例：未成年、若年層、高齢者 等）		2	年代（5 歳年齢階級）	分析軸として活用します。（例：未成年、若年層、高齢者 等）		○			
3	居住地区	分析軸として活用します。（例：地域学習センターの設置地区等）		3	居住地区	分析軸として活用します。（例：地域学習センターの設置地区等）		○			
4	職業	分析軸として活用します。（例：職業の有無別）		4	職業	分析軸として活用します。（例：職業の有無別）		○			
5	子どもの有無	分析軸として活用します。（例：子どもの有無別）		5	子どもの有無	分析軸として活用します。（例：子どもの有無別）			○		
6	18歳未満の子どもの人数	分析軸として活用します。		6	18歳未満の子どもの人数	分析軸として活用します。		○			
	文化・読書・スポーツに対する関心について			文化・読書・スポーツに対する関心について							
7	文化・読書・スポーツの関心の有無	各分野における関心・行動の度合いを把握するために活用します。		7	文化・読書・スポーツの関心の有無	各分野における関心・行動の度合いを把握するために活用します。		○			

令和３年度				令和７年度（案）							
	設問	ねらい			設問	ねらい	分類				備考
							追加	継続	変更	削除	
8	（文化に関心ある人のみ）文化に関心を持つようになったきっかけ	文化芸術における関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。	→	8	（文化に関心ある人のみ）文化に関心を持つようになったきっかけ	文化芸術における関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。			○		
9	（読書に関心ある人のみ）読書に関心を持つようになったきっかけ	読書における関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。		9	（読書に関心ある人のみ）読書に関心を持つようになったきっかけ	読書における関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。			○		
10	（スポーツに関心ある人のみ）スポーツに関心を持つようになったきっかけ	運動・スポーツにおける関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。		10	（スポーツに関心ある人のみ）スポーツに関心を持つようになったきっかけ	運動・スポーツにおける関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。			○		
	文化芸術について			文化芸術について							
11	関心のあるジャンル	関心のあるジャンルを把握します。		11	関心のあるジャンル	関心のあるジャンルを把握します。		○			
12	過去１年間における文化芸術の鑑賞の有無	関心・行動の度合いを把握するために活用します。		12	過去１年間における文化芸術の鑑賞の有無	関心・行動の度合いを把握するために活用します。		○			
13	（鑑賞したことがある人のみ）鑑賞の仕方（区内・区外）	「受動的に」「一人で」「主体的に」の視点で鑑賞の仕方を把握します。主体的に鑑賞する人ほど、人生100年時代を心豊かに生きるための要素等が肯定的な結果を示すと考えています。								○	

令和３年度			→	令和７年度（案）							
	設問	ねらい			設問	ねらい	分類				備考
							追加	継続	変更	削除	
				13	<u>（鑑賞したことがある人のみ）文化芸術情報の入手ツール</u>	<u>情報発信の効率化を目指し、区民の情報収集手段の傾向を把握します。</u>	○				
14	（鑑賞したことがない人のみ）鑑賞しなかった理由	関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。		14	（鑑賞したことがない人のみ）鑑賞しなかった理由	関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。			○		
15	文化芸術に関わるイベント・講座の参加の有無	参加・活動している人ほど、人生100年時代を心豊かに生きるための要素等が肯定的な結果を示すと考えています。		15	文化芸術に関わるイベント・講座の参加の有無	参加・活動している人ほど、人生100年時代を心豊かに生きるための要素等が肯定的な結果を示すと考えています。			○		
16	（参加した人のみ）参加後の文化芸術に関わる行動	参加後の文化芸術に関わる行動の実態を把握します。								○	
17	文化芸術に関わる活動の参加の有無	文化芸術に関わる活動への参加の実態について把握します。		16	文化芸術に関わる活動の参加の有無	文化芸術に関わる活動への参加の実態について把握します。		○			
18	（活動している人のみ）活動の仕方	活動への関わり方について把握します。								○	
19	区内や地域の伝統芸能や文化財などの鑑賞・体験の有無	区内や地域の伝統芸能や文化財などの鑑賞・体験の実態について把握します。		17	区内や地域の伝統芸能や文化財などの鑑賞・体験の有無	区内や地域の伝統芸能や文化財などの鑑賞・体験の実態について把握します。		○			
20	文化芸術を楽しむ人が増えるために必要な施策	関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。		18	文化芸術を楽しむ人が増えるために必要な施策	関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。		○			

令和３年度				令和７年度（案）							
	設問	ねらい			設問	ねらい	分類				備考
							追加	継続	変更	削除	
	読書について			読書について							
21	最近１ヶ月間における読書活動の有無	関心・行動の度合いを把握するために活用します。	→	19	最近１ヶ月間における読書活動の有無	関心・行動の度合いを把握するために活用します。			○		
22	（本を読んだ人のみ）読書の仕方	読書の仕方について把握します。		20	（本を読んだ人のみ）読書の仕方	読書の仕方について把握します。		○			
23	（本を読まなかった人のみ）本を読まなかった理由	関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。		21	（本を読まなかった人のみ）本を読まなかった理由	関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。			○		
24	電子書籍を活用した頻度	電子書籍を活用した頻度について把握します。		22	電子書籍を活用した頻度	電子書籍を活用した頻度について把握します。		○			
25	過去１年間でおこなった読書活動	活動している人ほど、人生100年時代を心豊かに生きるための要素等が肯定的な結果を示すと考えています。		23	過去１年間でおこなった読書活動	活動している人ほど、人生100年時代を心豊かに生きるための要素等が肯定的な結果を示すと考えています。			○		
26	図書館を利用する目的	図書館のサービスニーズを把握し、施策を検討するために活用します。		24	図書館を利用する目的	図書館のサービスニーズを把握し、施策を検討するために活用します。			○		
				25	<u>利用する区立図書館</u>	<u>よく利用する区立図書館の傾向について把握します。</u>	○				
				26	<u>区立図書館の居心地の良さ</u>	<u>区立図書館における居心地の良い空間づくりの達成度合いを把握します。</u>	○				

令和３年度				令和７年度（案）							
	設問	ねらい			設問	ねらい	分類				備考
							追加	継続	変更	削除	
				27	<u>区立図書館職員の相談のしやすさ</u>	<u>区立図書館における調べもののサポートや情報拠点としての役割の達成度合いを把握します。</u>	○				
				28	<u>区立図書館の満足度</u>	<u>区立図書館サービスの満足度合いを把握します。</u>	○				
運動・スポーツについて				運動・スポーツについて							
				29	<u>運動習慣・健康意識の程度（運動習慣）</u>	<u>多様なライフステージに応じた運動習慣の定着度合いを把握します。</u>	○				
				30	<u>運動習慣・健康意識の程度（健康意識）</u>	<u>多様なライフステージに応じた健康意識の定着度合いを把握します。</u>	○				
				31	<u>運動機会の希望・ニーズの程度（希望）</u>	<u>●●●●・・・。</u>	○				
				32	<u>運動機会の希望・ニーズの程度（ニーズ）</u>	<u>●●●●・・・。</u>	○				
				33	<u>地域連携・ボランティアの程度（地域連携）</u>	<u>●●●●・・・。</u>	○				
				34	<u>地域連携・ボランティアの程度（ボランティア）</u>	<u>●●●●・・・。</u>	○				
27	過去１年間における運動・スポーツの実施の有無	関心・行動の度合いを把握するために活用します。		35	過去１年間における運動・スポーツの実施の有無	関心・行動の度合いを把握するために活用します。		○			

令和３年度			→	令和７年度（案）							
	設問	ねらい			設問	ねらい	分類				備考
							追加	継続	変更	削除	
28	（実施した人のみ）運動・スポーツの実施頻度	運動・スポーツの実施頻度について把握します。		36	（実施した人のみ）運動・スポーツの実施頻度	運動・スポーツの実施頻度について把握します。		○			
29	（実施した人のみ）運動・スポーツの実施場所	関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。		37	（実施した人のみ）運動・スポーツの実施場所	関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。		○			
				38	<u>（実施した人のみ）運動・スポーツの効果実感の程度</u>	<u>量的な実施の有無だけではなく、質的な充実感や身体的・精神的効果の度合いを把握することで、スポーツ政策の成果を測定します。</u>	○				
30	（実施しなかった人のみ）運動・スポーツをしなかった理由	関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。		39	（実施しなかった人のみ）運動・スポーツをしなかった理由	関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。			○		
31	過去１年間における運動・スポーツの観戦の有無（トップスポーツ・地域の運動会）	観戦している人ほど、人生100年時代を心豊かに生きるための要素等が肯定的な結果を示すと考えています。		40	過去１年間における運動・スポーツの観戦の有無（トップスポーツ・地域の運動会）	観戦している人ほど、人生100年時代を心豊かに生きるための要素等が肯定的な結果を示すと考えています。		○			
32	（観戦したひとのみ）観戦の仕方（区外・区内）	観戦の仕方について把握します。		41	（観戦したひとのみ）観戦の仕方（区外・区内）	観戦の仕方について把握します。			○		
33	（観戦しなかった人のみ）観戦しなかった理由	観戦しなかった理由について把握します。								○	

令和３年度				令和７年度（案）							
	設問	ねらい			設問	ねらい	分類				備考
							追加	継続	変更	削除	
34	過去１年間における運動・スポーツの支える活動の有無	活動している人ほど、人生100年時代を心豊かに生きるための要素等が肯定的な結果を示すと考えています。		42	過去１年間における運動・スポーツの支える活動の有無	活動している人ほど、人生100年時代を心豊かに生きるための要素等が肯定的な結果を示すと考えています。		○			
35	（活動しなかった人のみ）活動しなかった理由	活動しなかった理由について把握します。		43	（活動しなかった人のみ）活動しなかった理由	活動しなかった理由について把握します。			○		
文化・読書・スポーツに関わる活動について				文化・読書・スポーツに関わる活動について							
36	文化・読書・スポーツを楽しむ人が増えることによるまちへの効果	各分野における関心・行動の度合いが高い人ほど、まちへの効果に対して肯定的な回答が多いと考えています。	→	44	文化・読書・スポーツを楽しむ人が増えることによるまちへの効果	各分野における関心・行動の度合いが高い人ほど、まちへの効果に対して肯定的な回答が多いと考えています。		○			
37	「ちょいスポ」・「ちょいカル」・「●読み」キャンペーンの認知度	取組の認知度（参加状況）を把握します。		45	「ぶちスポ」・「ぶちカル」・「ぶち読み」キャンペーンの認知度	取組の認知度（参加状況）を把握します。			○		
38	「ちょいスポ」・「ちょいカル」・「●読み」キャンペーンへの参加希望	取組への参加希望の実態を把握します。		46	「ぶちスポ」・「ぶちカル」・「ぶち読み」キャンペーンへの参加希望	取組への参加希望の実態を把握します。			○		
39	コロナ禍を経て３分野に充てる時間の変化について	（行動）３分野の活動の実態を把握します。								○	
40	コロナ禍を経て３分野の活動の満足度について	（行動）３分野の活動の意識（満足度）を把握します。								○	

令和３年度				令和７年度（案）							
	設問	ねらい			設問	ねらい	分類				備考
							追加	継続	変更	削除	
41	コロナ禍を経て３分野の活動の仕方の変化について	３分野の活動の仕方の変化を把握します。								○	
42	コロナ禍を経て３分野の活動の仕方における対面での実施の重要性に関する意識変化	３分野の活動の仕方における対面での実施の重要性に関する意識変化を把握します。									○
あなたの日常生活について				あなたの日常生活について							
43	人生100年時代を心豊かに生きるための要素（意欲）に関するあてはまり	各分野における関心・行動の度合いが高い人ほど、人生100年時代を心豊かに生きるための要素等が肯定的な結果を示すと考えています。		47	人生100年時代を心豊かに生きるための要素（意欲）に関するあてはまり	各分野における関心・行動の度合いが高い人ほど、人生100年時代を心豊かに生きるための要素等が肯定的な結果を示すと考えています。		○			
44	人生100年時代を心豊かに生きるための要素（実践）に関するあてはまり	意欲から実践へのつながりの度合いについて把握します。		48	人生100年時代を心豊かに生きるための要素（実践）に関するあてはまり	意欲から実践へのつながりの度合いについて把握します。		○			
45	ご近所づきあいや地域活動の有無	各分野における関心・行動の度合いが高い人ほど、社会関係資本を持つ回答者が多いと考えています。		49	ご近所づきあいや地域活動の有無	各分野における関心・行動の度合いが高い人ほど、社会関係資本を持つ回答者が多いと考えています。		○			
46	（ご近所づきあいや地域活動をしない人のみ）ご近所づきあいや地域活動をしない理由	ご近所づきあいや地域活動をしない理由について把握します。		50	（ご近所づきあいや地域活動をしない人のみ）ご近所づきあいや地域活動をしない理由	ご近所づきあいや地域活動をしない理由について把握します。			○		

令和３年度			→	令和７年度（案）							
	設問	ねらい			設問	ねらい	分類				備考
							追加	継続	変更	削除	
47	区内の人とのつながりの有無	区内の人とのつながりの実態について把握します。		51	区内の人とのつながりの有無	区内の人とのつながりの実態について把握します。		○			
48	足立区に対する愛着・誇り・推奨、可処分時間・所得の程度	各分野における関心・行動の度合いが高い人ほど、シビックプライド（愛着・誇り・推奨）が肯定的な結果を示すと考えています。可処分時間・所得のない人ほど、各分野における関心・行動の度合いが低いと考えています。関心・行動を高めるターゲットを明確にする際に活用します。		52	足立区に対する愛着・誇り・推奨、可処分時間・所得の程度	各分野における関心・行動の度合いが高い人ほど、シビックプライド（愛着・誇り・推奨）が肯定的な結果を示すと考えています。可処分時間・所得のない人ほど、各分野における関心・行動の度合いが低いと考えています。関心・行動を高めるターゲットを明確にする際に活用します。		○			
49	自由回答（文化・読書・スポーツ）	各分野に対する区民の意見を把握し、必要に応じて計画内容を検討するための資料とします。		53	自由回答（文化・読書・スポーツ）	各分野に対する区民の意見を把握し、必要に応じて計画内容を検討するための資料とします。		○			

アンケート調査項目一覧（小5・中1用） 新旧対照表（案）

資料4

① 保護者向け調査

令和3年度				令和7年度（案）							
	設問	ねらい			設問	ねらい	分類				備考
							追加	継続	変更	削除	
	性・年代等の基本属性について			性・年代等の基本属性について							
1	回答者自身の性別	分析軸として活用します。	→	1	回答者自身の性別	分析軸として活用します。		○			
2	回答者自身の年代（5歳年齢階級）	分析軸として活用します。		2	回答者自身の年代（5歳年齢階級）	分析軸として活用します。		○			
3	お子さんとの関係	分析軸として活用します。		3	お子さんとの関係	分析軸として活用します。		○			
	あなたの文化・読書・スポーツに対する関心・行動について			あなたの文化・読書・スポーツに対する関心・行動について							
4	文化・読書・スポーツの関心の有無	各分野における関心・行動の度合いを把握するために活用します。		4	文化・読書・スポーツの関心の有無	各分野における関心・行動の度合いを把握するために活用します。		○			
5	過去1年間における文化芸術の鑑賞の有無	関心・行動の度合いを把握するために活用します。		5	過去1年間における文化芸術の鑑賞の有無	関心・行動の度合いを把握するために活用します。		○			
6	最近1ヶ月間における読書活動の有無	関心・行動の度合いを把握するために活用します。		6	最近1ヶ月間における読書活動の有無	関心・行動の度合いを把握するために活用します。			○		
7	過去1年間における運動・スポーツの実施の有無	関心・行動の度合いを把握するために活用します。		7	過去1年間における運動・スポーツの実施の有無	関心・行動の度合いを把握するために活用します。		○			
8	（実施した人のみ）運動・スポーツの実施頻度	運動・スポーツの実施頻度について把握します。		8	（実施した人のみ）運動・スポーツの実施頻度	運動・スポーツの実施頻度について把握します。		○			

令和３年度			→	令和７年度（案）							
	設問	ねらい			設問	ねらい	分類				備考
							追加	継続	変更	削除	
					運動・スポーツを実施しなかった理由	運動・スポーツを実施しなかった理由を把握します。	⊖				
9	可処分時間・所得の程度（回答者自身・お子さんのため）	分析軸として活用します。特に、保護者の可処分時間・所得のない家庭の子どもほど、各分野における関心・行動の度合いが低いと考えています。関心・行動を高めるターゲットを明確にする際に活用します。		9	可処分時間・所得の程度（回答者自身・お子さんのため）	分析軸として活用します。特に、保護者の可処分時間・所得のない家庭の子どもほど、各分野における関心・行動の度合いが低いと考えています。関心・行動を高めるターゲットを明確にする際に活用します。		○			
10	コロナ禍を経て３分野に充てる時間の変化について	（行動）３分野の活動の実態を把握します。								○	
11	コロナ禍を経て３分野の活動の満足度について	（行動）３分野の活動の意識（満足度）を把握します。								○	
あなたのお子さんのことについて				あなたのお子さんのことについて							
12	お子さんの性別	分析軸として活用します。		10	お子さんの性別	分析軸として活用します。		○			
13	お子さんの対処能力のあてはまり	各分野における関心・行動の度合いが高い子どもほど、対処能力のあてはまりが肯定的な結果を示すと考えています。		11	お子さんの対処能力のあてはまり	各分野における関心・行動の度合いが高い子どもほど、対処能力のあてはまりが肯定的な結果を示すと考えています。			○		

令和３年度				令和７年度（案）							
	設問	ねらい			設問	ねらい	分類				備考
							追加	継続	変更	削除	
14	お子さんの学校以外での文化的な活動の有無	活動している子どもほど、対処能力や自己肯定感のあてはまりが肯定的な結果を示すと考えています。	→	12	お子さんの学校以外での文化的な活動の有無	活動している子どもほど、対処能力や自己肯定感のあてはまりが肯定的な結果を示すと考えています。		○			
15	お子さんが文化・読書・スポーツを楽しむことで得られるもの	各分野における関心・行動の度合いが高い保護者ほど、各分野を楽しむことで子どもが得られるものに対して肯定的な回答が多いと考えています。		13	お子さんが文化・読書・スポーツを楽しむことで得られるもの	各分野における関心・行動の度合いが高い保護者ほど、各分野を楽しむことで子どもが得られるものに対して肯定的な回答が多いと考えています。		○			
	お子さんの小学校入学直前１年間の様子について			お子さんの小学校入学直前１年間の様子について							
16	文化・読書・スポーツの関心のうち、お子さんが好きだったこと	未就学児の頃について、各分野における関心・行動の度合いを把握するために活用します。	→	14	文化・読書・スポーツの関心のうち、お子さんが好きだったこと	未就学児の頃について、各分野における関心・行動の度合いを把握するために活用します。		○			
17	お子さんの文化芸術的な活動の有無	未就学児の頃について、文化芸術活動の実態を把握します。		15	お子さんの文化芸術的な活動の有無	未就学児の頃について、文化芸術活動の実態を把握します。		○			
18	お子さんが本を読んでいたかどうか	未就学児の頃について、読書活動の実態を把握します。		16	お子さんが本を読んでいたかどうか	未就学児の頃について、読書活動の実態を把握します。		○			
19	お子さんにおける本を読む以外の読書に関わる活動の有無	未就学児の頃について、運動・スポーツ活動の実態を把握します。		17	お子さんにおける本を読む以外の読書に関わる活動の有無	未就学児の頃について、運動・スポーツ活動の実態を把握します。		○			

令和３年度				令和７年度（案）							
	設問	ねらい			設問	ねらい	分類				備考
							追加	継続	変更	削除	
20	お子さんの運動・スポーツの実施頻度	未就学児の頃について、運動・スポーツの実施頻度について把握します。		18	お子さんの運動・スポーツの実施頻度	未就学児の頃について、運動・スポーツの実施頻度について把握します。		○			
21	（お子さんに文化・読書・スポーツをさせなかった人のみ）させなかった理由	未就学児に対して、関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。		19	（お子さんに文化・読書・スポーツをさせなかった人のみ）させなかった理由	未就学児に対して、関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。			○		

アンケート調査項目一覧（小5・中1用） 新旧対照表（案）

② 児童・生徒向け調査

令和3年度				令和7年度（案）							
	設問	ねらい			設問	ねらい	分類				備考
							追加	継続	変更	削除	
	3分野への関心について			3分野への関心について							
1	文化・読書・スポーツの関心の有無	各分野における関心・行動の度合いを把握するために活用します。	→	1	文化・読書・スポーツの関心の有無	各分野における関心・行動の度合いを把握するために活用します。		○			
	文化芸術について			文化芸術について							
2	過去1年間における文化芸術の鑑賞の有無	文化芸術における関心・行動の度合いを把握するために活用します。	→	2	過去1年間における文化芸術の鑑賞の有無	文化芸術における関心・行動の度合いを把握するために活用します。		○			
3	（鑑賞していない人のみ）鑑賞するようになるきっかけ	関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。								○	
				3	<u>（鑑賞したことがある人のみ）文化芸術情報の入手ツール</u>	<u>情報発信の効率化を目指す、区民の情報収集手段の傾向を把握します。</u>	○				
	読書について			読書について							
4	最近1ヶ月間における読書活動の有無	読書における関心・行動の度合いを把握するために活用します。		4	最近1ヶ月間における読書活動の有無	読書における関心・行動の度合いを把握するために活用します。			○		
5	（本を読んだ人のみ）読書の方法	読書の仕方について把握します。		5	（本を読んだ人のみ）読書の方法	読書の仕方について把握します。		○			
6	（本を読まなかった人のみ）本を読むようになるきっかけ	関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。		6	（本を読まなかった人のみ）本を読むようになるきっかけ	関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。		○			

令和3年度			→	令和7年度（案）							
	設問	ねらい			設問	ねらい	分類				備考
							追加	継続	変更	削除	
7	電子書籍を活用した頻度	電子書籍を活用した頻度について把握します。		7	電子書籍を活用した頻度	電子書籍を活用した頻度について把握します。		○			
8	学校の図書館・図書室に行く頻度	学校の図書館・図書室の利用状況を把握し、利用していない子どもがどのくらいいるのかを把握します。		8	学校の図書館・図書室に行く頻度	学校の図書館・図書室の利用状況を把握し、利用していない子どもがどのくらいいるのかを把握します。		○			
9	（学校図書館に行く人のみ）学校の図書館・図書室に行く目的	学校の図書館・図書室の利用目的を把握し、利用を促進するための施策を検討するために活用します。		9	（学校図書館に行く人のみ）学校の図書館・図書室に行く目的	学校の図書館・図書室の利用目的を把握し、利用を促進するための施策を検討するために活用します。		○			
スポーツについて				スポーツについて							
10	1週間あたりの運動・スポーツの実施頻度	運動・スポーツにおける関心・行動の度合いを把握するために活用します。		10	1週間あたりの運動・スポーツの実施頻度	運動・スポーツにおける関心・行動の度合いを把握するために活用します。		○			
				11	<u>運動・スポーツの実施場所</u>	<u>関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。</u>	○				
				12	<u>運動・スポーツの効果実感の程度</u>	<u>量的な実施の有無だけでなく、質的な充実感や身体的・精神的効果の度合いを把握することで、スポーツ政策の効果測定します。</u>	○				
				13	<u>運動・スポーツ実施のきっかけ・動機</u>	<u>●●●●・・・。</u>	○				

令和３年度				令和７年度（案）							
	設問	ねらい			設問	ねらい	分類				備考
							追加	継続	変更	削除	
11	（実施していない人のみ）実施するようになるきっかけ	関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。		14	（実施していない人のみ）実施するようになるきっかけ	関心・行動の度合いを高めるための施策を検討するために活用します。		○			
12	スポーツ観戦の有無	スポーツ（観戦）における関心・行動の度合いを把握するために活用します。		15	スポーツ観戦の有無	スポーツ（観戦）における関心・行動の度合いを把握するために活用します。		○			
自己肯定感・主観的健康観について				自己肯定感・主観的健康観について							
13	自己肯定感・主観的健康観のあてはまり	各分野における関心・行動の度合いが高い子どもほど、自己肯定感・主観的健康観が肯定的な結果を示すと考えています。	→	16	自己肯定感・主観的健康観のあてはまり	各分野における関心・行動の度合いが高い子どもほど、自己肯定感・主観的健康観が肯定的な結果を示すと考えています。		○			
あなたの日常生活について（コロナ禍での変化）				あなたの日常生活について（コロナ禍での変化）							
14	コロナ禍を経て３分野に充てる時間の変化について	（行動）３分野の活動の実態を把握します。	→							○	
15	コロナ禍を経て３分野の活動の満足度について	（行動）３分野の活動の意識（満足度）を把握します。								○	



足立区 文化・読書・スポーツに関するアンケート調査

ご回答いただく皆様へ

ご回答いただいた内容は、すべて個人が特定できないよう統計的に処理し、お名前や個別のご意見がそのまま公表されることはありません。また、統計の報告以外の目的には使用いたしません。ぜひ率直なご意見をお聞かせください。

- 封筒の宛名に表示のあるご本人がお答えください。もし、ご本人がご記入いただけないときは、身近な方が、ご本人の意見を聞きながら記入してくださいようお願いいたします。万一、ご病気などでお答えいただけない場合や、読みたくない、回答したくない場合は、無理にすべての設問を回答しなくてもかまいません。可能でしたら、ご回答いただける質問のみでもお答えいただければ幸いです。
- 回答方法は調査票（紙）またはWEB（インターネット）の2種類からお選びいただけます。
- 調査票へのご記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いします。お答えは、あてはまる番号に○印をつけてください。
- WEBで回答される方は、下のQRコードからアクセスしていただき、IDをご入力の上、下記の締め切り日までにご回答ください。
- 質問によっては、回答していただく方や○をつける数を指定しておりますので、（ ）内のことわり書きをよくお読みください。
- 「その他」にあてはまる場合は、（ ）内にできるだけ具体的にその内容を記入してください。
- この調査票は、無記名式となっています。調査票と返信用封筒には、ご住所・お名前をご記入いただく必要はありません。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒にて、11月5日（金）までに
ご投函ください（切手を貼る必要はありません）。なお、調査の内容、考え方、記入のしかたなどについて、わからないことがございましたら、下記までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

足立区地域のちから推進部生涯学習支援課
電話：03-3880-8017

メール：sg-shien@city.adachi.tokyo.jp

WEB回答のID・パスワード

パスワード:3880

ID:

WEBで回答される方は
こちらから➡

【URL】

<https://forms.gle/rbEFhWTfJUmozRa7>



1. あなたのことについて

問1. あなたの性別をお答えください（○は1つ）。

1. 男性	2. 女性	3. どちらでもない	4. 無回答
-------	-------	------------	--------

問2. あなたの年齢をお答えください（令和7年●月●日現在、○は1つ）。

1. 19歳以下	5. 35～39歳	9. 55～59歳	13. 75～79歳
2. 20～24歳	6. 40～44歳	10. 60～64歳	14. 80歳以上
3. 25～29歳	7. 45～49歳	11. 65～69歳	
4. 30～34歳	8. 50～54歳	12. 70～74歳	

問3. お住まいの地区を教えてください。町名だけでなく、あれば丁目までご記入ください。

※ 町名は、「千住関屋町」「小台」「加平」「西新井」「花畑」など

町名：	丁目：
-----	-----

問4. あなたの職業をお答えください（○は1つ）。

1. 自営業・事業主	5. 主に家事に従事（専業主婦・主夫など）
2. 自由業	6. 学生
3. 会社員・公務員	7. 無職
4. パート・アルバイト	8. その他（ ）

問5. 【変更】あなたには、現在、同居しているお子さんがいますか（○はいくつでも）。

1. 未就学児（3歳以下）の子どもがいる	5. 中学生以上18歳未満の子どもがいる
2. 未就学児（4歳以上）の子どもがいる	6. 18歳以上の子どもがいる
3. 小学校1～3年生の子どもがいる	7. いない
4. 小学校4～6年生の子どもがいる	

問6は問5で「1」～「5」を選んだ人のみお答えください。

問6. 18歳未満のお子さんは何人いますか。

人

2. 文化・読書・スポーツに対する関心について

ここからの質問に出てくる「文化芸術」「読書」「運動・スポーツ」は以下のことを指します。

【言葉の定義】

文化芸術	音楽、美術、演劇、舞踊、芸能（歌舞伎、能・狂言、雅楽など）、文化財・遺跡、華道、書道、茶道、盆栽、映画など
読書	本や雑誌、漫画などを読むこと。電子書籍（紙に印刷された本ではなく、画面で読む本や雑誌のこと）も含まれます。
運動・スポーツ	競技スポーツに限らず、健康増進のための軽い体操やウォーキングのほか、エレベーターを使わずに階段を使う、バス停1つ分を歩くなどの目的をもった身体活動を含みます。

問7. あなたは、次のことに関心がありますか（○はいくつでも）。

※ 現在、文化芸術、読書、運動・スポーツに関わる活動をおこなっていないなくても、関心があれば「1」～「3」に○をご記入ください。

- 文化芸術（観たり、聴いたり、創作すること）
- 読書
- 運動・スポーツ（実施したり、観戦したり、支援すること）
- 文化芸術、読書、運動・スポーツ以外のことに関心がある（ ）
- 特に関心のある分野はない

問8は問7で「1」を選んだ人のみお答えください。

問8. 【変更】あなたが文化芸術に関心を持つようになったきっかけは何ですか（○はいくつでも）。

- 親（家族・親族など）が文化芸術を観たり、聴いたりさせてくれた
- 親（家族・親族など）が文化芸術に親しんでいた
- 自分の子どもが文化芸術を好きだ
- 友人・知人に誘われて
- 学校の授業や行事・部活動の経験
- テレビや新聞などの宣伝・広告をみて
- 小説や漫画を通じて
- ドラマや映画を通じて
- 特定の作家・アーティストや作品に関心を持った
- 足立区の施設で公演・展示会などを観たり、聴いたりして
- 【削除】新型コロナウイルス感染症の影響により時間ができた
- その他（ ）

問9は問7で「2」を選んだ人のみお答えください。

問9. 【変更】あなたが読書に関心を持つようになったきっかけは何ですか(○はいくつでも)。

1. 親(家族・親族など)と一緒に本を読んできた
2. 親(家族・親族など)が図書館や本屋に連れて行ってくれた
3. 親(家族・親族など)が本や雑誌、漫画などを読んでいた
4. 自分の子供もが本や雑誌、漫画などを読んでいた
5. 友人・知人にすすめられて
6. 学校の先生や図書館職員などにすすめられて
7. 学校で読書に関する取組(朝の10分間読書など)があった
8. テレビや新聞などの宣伝・広告をみて
9. 【追加】インターネットやSNSで紹介動画を見て
10. 特定の著者や本に関心を持った
11. 足立区の施設で読書活動に関わるイベントに参加して
12. 知りたいことや調べたいことができた
13. 【削除】新型コロナウイルス感染症の影響により時間ができた
14. その他()

問10は問7で「3」を選んだ人のみお答えください。

問10. 【変更】あなたが運動・スポーツに関心を持つようになったきっかけは何ですか(○はいくつでも)。

1. 親(家族・親族など)と一緒に体を動かして遊んできた
2. 親(家族・親族など)が運動・スポーツをしていた
3. 自分の子供もが運動・スポーツをしていた
4. 友人・知人に誘われて
5. 学校の授業や行事・部活動の経験
6. テレビや新聞などの宣伝・広告をみて
7. テレビで大会や試合の様子を観て
8. 小説や漫画を通じて
9. ドラマや映画を通じて
10. イベントでトップレベルの選手と接して(引退した選手も含む)
11. 足立区の施設で運動・スポーツに関わるイベントに参加して
12. 美容・健康を意識して
13. 医師にすすめられて
14. 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を観て
15. 【削除】新型コロナウイルス感染症の影響により時間ができた
16. その他()

3. 文化芸術について

問1 1. あらためて文化芸術のジャンルについてお伺いします。以下の選択肢の中で、あなたが興味や関心があるものはどれですか（〇はいくつでも）。

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 音楽 | 9. 芸能（落語、寄席など） |
| 2. 美術 | 10. 生活文化（茶道、華道など） |
| 3. 写真 | 11. 食文化 |
| 4. 演劇 | 12. 国民娯楽（囲碁、将棋など） |
| 5. 舞踏・舞踊（日本舞踊、バレエ、ダンスなど） | 13. 歴史・文化財 |
| 6. メディア（映画、漫画、アニメなど） | 14. 郷土芸能（お囃子、獅子舞など） |
| 7. 伝統芸能（能、歌舞伎など） | 15. その他（ ） |
| 8. 文芸（俳句など） | 16. 特にない |

問1 2. あなたは、過去1年間に、文化ホールや美術館等の施設やイベント等で直接、または、オンラインやWEBやテレビで、文化芸術の作品を観たり、聴いたりしたことはありますか。ある人は、その内容もお答えください（〇は1つ）。

※ 学校の授業・課外活動は除きます。

- | |
|-----------------------|
| 1. 観たり、聴いたりした（主な内容： ） |
| 2. したかったが、できなかった |
| 3. しようと思わなかった |

問1 3は問1 2で「1」を選んだ人のみお答えください。

問1 3. 【削除】あなたは、どのようなきっかけで作品を観たり、聴いたりしましたか。足立区内・足立区外・オンラインやWEBやテレビなど、それぞれの施設やイベント等について、あてはまる番号を1つだけ選んでください。

【追加】あなたは、文化芸術の情報を、どのような手段で入手していますか（〇はいくつでも）。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. インターネット | 5. 口コミ |
| 2. SNS | 6. ポスター・チラシ |
| 3. テレビ・ラジオ | 7. 雑誌・新聞 |
| 4. あだち広報 | 8. その他（ ） |

問14は問12で「2」または「3」を選んだ人のみお答えください。

問14. 【変更】過去1年間に、文化ホールや美術館等の施設やイベント等で直接、または、オンラインやWEBやテレビで、文化芸術の作品を観たり、聴いたりしなかった理由は何ですか（〇はいくつでも）。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 【削除】新型コロナウイルスの影響のため | 7. 場所や施設がないから |
| 2. 仲間がいらないから | 8. お金に余裕がないから |
| 3. 楽しみ方がわからないから | 9. 文化芸術が嫌いだから |
| 4. 子どもに手がかかるから | 10. 面倒くさいから |
| 5. 病気やけがをしているから | 11. 文化芸術以上に大切なことがあるから |
| 6. 年をとったから | 12. その他（ ） |
| | 13. 特に理由はない |

問15. 【変更】あなたは、これまで文化芸術に関する創作や表現などを体験するイベントや講座に参加したことがありますか（〇は1つ）。

- | |
|--------------------|
| 1. 参加したことがある |
| 2. 参加したかったが、できなかった |
| 3. 参加しようと思わなかった |

問16は問14で「1」を選んだ人のみお答えください。

問16. 【削除】あなたは、問14のイベントの参加後に、何か文化芸術についておこなったことはありますか（〇はいくつでも）。

問16. あなたは、文化芸術に関わる活動をしておこなっていますか。おこなっている場合は、活動内容もお答えください（〇は1つ）。

※ 「活動」とは、趣味を含め、楽器を演奏する、絵画を描くなどの行為を指します。

- | |
|---------------------------|
| 1. おこなっている（活動内容： ） |
| 2. 過去におこなっていたが、今はおこなっていない |
| 3. おこないたいと思うが、おこなっていない |
| 4. おこなっていない |

問17は問16で「1」または「2」を選んだ人のみお答えください。

問17. 【削除】あなたは、その活動をどのようにおこなっていますか（いましたか）（〇はいくつでも）。

問 17. あなたは、^{あだちくない}足立区内や^すあなたの^{ちいき}住む^{でんとうげいのう}地域の^{ぶんかざい}伝統芸能や文化財などを^み観たり、^き聴いたり、^{たいけん}体験したりしたことはありますか（○はいくつでも）。

1. ^{ちいき} 地域の ^{さいじ} 祭事など、 ^{ねんじゅうぎようじ} 年 中 ^{さんか} 行事に参加したことがある
2. ^{ちいき} 地域に ^{つた} 伝わる ^{でんとうげいのう} 伝統芸能を ^み 観たり、 ^き 聴いたりしたことがある
3. ^{ちいき} 地域に ^{つた} 伝わる ^{でんとうげいのう} 伝統芸能を ^{たいけん} 体験したことがある
4. ^{ちいき} 地域の ^{ぶんかざい} 文化財を ^み 観たことがある
5. ^{ちいき} 地域の ^{でんとうげいのう} 伝統芸能や ^{ぶんかざい} 文化財の ^{ほぞん} 保存に ^{かか} 関わっている
6. ^{きょうどはくぶつかん} 郷土博物館の ^{てんじ} 展示を ^み 観たことがある
7. ^{きょうどはくぶつかん} 郷土博物館の ^{さんか} イベントに参加したことがある
8. ^{かんしん} 関心はあるが、 ^{じっさい} 実際に ^み 観たり、 ^き 聴いたりしたことはない
9. ^み 観たり、 ^き 聴いたりしたことはない

問 18. あなたは、^{つぎ}次のことがどれくらいあてはまりますか。あてはある^{ばんごう}番号をそれぞれ1つだけ^{えら}選んでください。

※ ^{ほんせつもん}本設問は、^{あだちく}足立区^{ぶんか}文化^{げいじゆつ}芸術^{いしんけいかく}推進計画の^{せさく}施策の^{しんちよくじようきよう}進捗状況^{はあく}を把握するためのものです。

	そう 思う おも	そう 思う おも	ど ち ら か と い え ば おも	ど ち ら か と い え ば おも	そう 思 わ な い おも	わ か ら な い
ア ^{あだちく} 足立区は ^{ぶんか} 文化 ^{げいじゆつ} 芸術に ^{した} 親しめるまちである	1	2	3	4	5	
イ ^{あだちく} 足立区の ^{ぶんか} 文化 ^{げいじゆつ} 芸術事業を ^{ひょうか} 評価できる	1	2	3	4	5	
ウ ^{あだちく} 足立区は子どもたちが ^{ぶんか} 文化 ^{げいじゆつ} 芸術を楽しむ まちである	1	2	3	4	5	
エ ^{あだちく} 足立区の子どもに対する ^{ぶんか} 文化 ^{げいじゆつ} 芸術事業を ^{ひょうか} 評価できる	1	2	3	4	5	
オ ^{あだちく} 足立区は ^{さんか} 参加・ ^{たいけん} 体験型の ^{ぶんか} 文化事業が ^{おほ} 多い	1	2	3	4	5	
カ ^{あだちく} 足立区は ^{ぶんか} 文化 ^{げいじゆつ} 芸術活動が ^{おこな} 行いやすい	1	2	3	4	5	
キ ^{あだちく} 足立区は ^{ぶんか} 文化 ^{げいじゆつ} 芸術活動への ^{しえん} 支援を ^{じゅうぶん} 十分にできている	1	2	3	4	5	
ク ^{あだちく} 足立区は ^{ぶんか} 文化 ^{げいじゆつ} 芸術活動の ^{せい} 成果を ^{はつき} 発揮できる ^{きかい} 機会が ^{じゅうぶん} 十分にある	1	2	3	4	5	
ケ ^{あだちく} 足立区の ^{ぶんかざい} 文化財・ ^{ぶんか} 文化遺産・ ^{でんとうぶんか} 伝統文化を ^{ほこ} 誇りに ^{おも} 思う	1	2	3	4	5	
コ ^{ぶんか} 文化 ^{げいじゆつ} 芸術に関する ^{かん} 区の ^く 情報発信に ^{じょうほうはっしん} 満足している	1	2	3	4	5	
サ ^{あだちく} 足立区の ^{れんけいじぎょうおよ} 連携事業及び ^{こうりゆう} 交流の ^{きかい} 機会は ^{じゅうじつ} 充実している	1	2	3	4	5	
シ ^{あだちく} 足立区は ^{ぶんか} 文化 ^{げいじゆつ} 芸術の ^{すいしん} 推進に ^{ちから} 力を入れている	1	2	3	4	5	
ス ^{あだちく} 足立区の ^{ぶんか} 文化 ^{げいじゆつ} 芸術の ^{すいしんせさく} 推進施策を ^{ひょうか} 評価できる	1	2	3	4	5	

4. 読書について

問19. 【変更】あなたは、最近1か月間に、次のことをしたことはありますか(○はいくつでも)。

※ ここでいう「本」、「漫画」、「雑誌」にはスマートフォンやパソコンなどで読む電子書籍も含みます。いずれも最後まで読み切っていなくてもかまいません。

※ 「新聞」には電子版のほか、オンライン上の新聞記事を読むことも含みます。

※ 学校の課題図書、授業で読んだ本や教科書は含みません。

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1. 本を読む | 6. 書店・古書店に行く |
| 2. 漫画を読む | 7. 【変更】本などの紹介動画や通販サイトをみる |
| 3. 雑誌を読む | 8. 1～7のことをしたかったが、できなかった |
| 4. 新聞(記事単体も含む)を読む | 9. 1～7のことをしようと思わなかった |
| 5. 図書館に行く | |

問20は問19で「1」～「7」を選んだ人のみお答えください。

問20. どのような方法で本を読みましたか(○はいくつでも)。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 紙の本 | 4. パソコン |
| 2. スマートフォン | 5. 電子書籍専用端末 |
| 3. タブレット | 6. その他() |

問21は問20で「8」～「9」を選んだ人のみお答えください。

問21. 【変更】あなたが「できなかった」または「しなかった」理由は何ですか(○はいくつでも)。

- | | |
|--|-------------------------|
| 1. 本を読むことよりも時間をかけたいことや趣味があるから | 4. 年をとって本を読むことが難しくなったから |
| 2. 仕事・学校・家事・育児・介護など読書よりも時間をかけなければならないことがあるから | 5. どんな本を読めばいいかわからないから |
| 3. 本を読むことが嫌いだから | 6. その他 |

問22. どのくらいの頻度で電子書籍を読みましたか(○は1つ)。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. ほぼ毎日読む | 4. ほとんど読まない |
| 2. 少なくとも週に1度は読む | 5. 読まない |
| 3. 少なくとも月に1度は読む | |

問23. 【変更】あなたが、過去1年間でおこなったことのある読書に関わる行動は何ですか（〇はいくつでも）。

1. 家族や友人に本や漫画、雑誌をすすめる
2. 家族や友人に本の感想や調べたことを話す
3. 家族や友人と本の貸し借りをする
4. 【削除】誰かと同じタイトルの本や漫画、雑誌を読む
5. 【削除】同じ著者の本を読む
6. 【削除】同じテーマの本を読む
7. 本の感想や調べたことを書く
8. 【変更】好きな著者の講演会や本をテーマとしたイベントに参加する
9. 【追加】インターネットやSNSで本や漫画、雑誌の紹介動画を見る
10. 【追加】インターネットやSNSで本や漫画、雑誌の紹介動画を紹介する
11. その他（ ）
12. 1～11のことをしていない

問24. 【変更】図書館を利用する目的は何ですか（〇はいくつでも）。

1. 本を読むため
2. 調べ物をするため
3. 勉強をするため
4. イベントに参加するため
5. 静かに過ごすため
6. 会話をするため
7. 子どもと一緒に過ごすため
8. 友人や家族と一緒に過ごすため
9. インターネットを使うため
10. その他（ ）
11. 図書館を利用していない（理由： ）

問25. 【追加】あなたが、一番利用する区立図書館はどこですか。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 中央図書館 | 9. 竹の塚図書館 |
| 2. 伊興図書館 | 10. 東和図書館 |
| 3. 梅田図書館 | 11. 舎人図書館 |
| 4. 興本図書館 | 12. 花畑図書館 |
| 5. 江北図書館 | 13. 保塚図書館 |
| 6. 佐野図書館 | 14. 江南コミュニティ図書館 |
| 7. 鹿浜図書館 | 15. やよい図書館 |
| 8. 新田コミュニティ図書館 | 16. 利用したことがない |

問26. 【追加】区立図書館は居心地がいいと感じますか。居心地が悪いと感じた場合は、その理由
もお答えください。

- | | |
|----------------|---|
| 1. いい（理由： | ） |
| 2. 悪い（理由： | ） |
| 3. 行かないのでわからない | |

問27. 【追加】区立図書館では気軽に相談ができますか。

- | |
|-------------------|
| 1. はい |
| 2. いいえ |
| 3. 行かないのでわからない |
| 4. 相談しようと思ったことがない |

問28. 【追加】区立図書館があつてよかったと思いますか。

- | |
|--------|
| 1. はい |
| 2. いいえ |

5. 運動・スポーツについて

問29. 【追加】あなたは、健康のために意識的に身体を動かすようにしていますか。

1. 意識している
2. あまり意識していない
3. 意識していない

問30. 【追加】日常生活の中で、意識して身体を動かすような行動をとっていますか（○はいくつでも）。

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 階段を使うようにしている | 4. 買い物ついでに散歩するようにしている |
| 2. 一駅分歩くようにしている | 5. 特に意識していない |
| 3. 自転車を利用している | |

問31. 【追加】あなたは、どのような運動・スポーツプログラムがあれば参加してみたいですか（○はいくつでも）。

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 初心者向けのストレッチやヨガ | 4. 障がいのある人と一緒に楽しめるプログラム |
| 2. シニア向けの健康体操 | 5. スポーツ体験イベント（種目体験など） |
| 3. 家族で参加できるイベント | 6. 特にない |

問32. 【追加】運動・スポーツをする際に、どのような支援や環境があればより取り組みやすくなりますか（○はいくつでも）。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 子どもを預けられる託児サービス | 4. 指導者や仲間とのマッチング機会 |
| 2. 費用の補助 | 5. 障がい者にも利用しやすい施設整備 |
| 3. 気軽に使える公園・広場の整備 | |

問33. 【追加】あなたは、地域で開催される運動・スポーツイベントに参加したことがありますか。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問34. 【追加】スポーツイベントや教室の運営にボランティアとして関わりたいと思いますか。

1. 関わりたい
2. 条件が合えば関わりたい
3. 関わりたくない

問35. あなたは、過去1年間に、運動・スポーツを実施しましたか（○は1つ）。

※ 学校での体育の授業、運動会などの行事は含みません。

1. 実施した
2. 実施したかったが、できなかった
3. 実施しようと思わなかった

問36～問38は問35で「1」を選んだ人のみお答えください。

問36. あなたは、どれくらい運動・スポーツを実施しましたか（○は1つ）。

1. 週に3日以上	4. 3か月に1～2日
2. 週に1日以上	5. 年に1～3日
3. 月に1～3日	6. わからない

問37. あなたは、どのような場所や施設で運動・スポーツを実施しましたか（○はいくつでも）。

1. 自宅	4. 職場及び職場周辺（区外）
2. 自宅周辺	5. その他の場所（区内）
3. 職場及び職場周辺（区内）	6. その他の場所（区外）

問38. 【追加】運動・スポーツを実施して、あなたはどのように感じましたか。

1. ●●●●	4. ●●●●
2. ●●●●	5. ●●●●
3. ●●●●	6. ●●●●

問39は問35で「2」または「3」を選んだ人のみお答えください。

問39. 【変更】あなたが運動・スポーツを実施しなかった理由は何ですか（○はいくつでも）。

1. 【削除】新型コロナウイルスの影響のため	4. ●●●●
2. ●●●●	5. ●●●●
3. ●●●●	6. ●●●●

問40. あなたは、過去1年間に、体育館屋外運動場やアリーナ等の施設やイベント等で直接、または、オンラインやWEBやテレビで、運動・スポーツの大会や試合などを観たことはありますか。ある人は、その内容もお答えください（○は1つ）。

※ 学校の授業・課外活動は除きます。

1. 観た（主な内容：_____）
2. 観たかったが、観ることができなかった
3. しようと思わなかった

問41は問40で「1」を選んだ人のみお答えください。

問41. 【変更】あなたは、過去1年間に、どのようなきっかけで運動・スポーツの大会や試合などを観ましたか。

1. 家族・友人の誘い	4. ●●●●
2. 自分で調べた	5. ●●●●
3. たまたまみつけた	6. ●●●●

問●●は問●●で「2」または「3」を選んだ人のみお答えください。

問●●【削除】あなたが運動・スポーツの大会や試合を観なかった理由は何ですか（○はいくつでも）。

問4 2. 次の活動のうち、過去1年間にあなたが関わった運動・スポーツを支える活動はありますか（○はいくつでも）。

- | | |
|---------------------------------|--------------------------------|
| 1. 運動・スポーツの指導 | 7. スポーツの指導や審判などに関わる講習会・研修会への参加 |
| 2. スポーツの審判 | 8. パラスポーツ競技者のサポート（移動介助を含む） |
| 3. 教室・大会・イベントの運営や世話 | 9. その他（ ） |
| 4. 自身やあなたのお子さんが所属するクラブ・団体の運営や世話 | 10. 活動したかったが、する機会がなかった |
| 5. 大会やイベント会場での選手やチームの応援 | 11. 活動しなかった |
| 6. クラブ・団体や大会・イベントへの寄付 | |

問4 3は問4 2で「10」または「11」を選んだ人のみお答えください。

問4 3. 【変更】あなたが運動・スポーツを支える活動をしなかった理由は何ですか（○はいくつでも）。

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 【削除】新型コロナウイルスの影響のため | 9. 技術や資格がないとできないと思うから |
| 2. 仲間や一緒に参加する人がいないから | 10. 運動・スポーツが嫌いだから |
| 3. 一人でも活動できる場がないから | 11. 有償の活動が少ないから |
| 4. 子どもに手がかかるから | 12. 面倒くさいから |
| 5. 病気やけがをしているから | 13. 運動・スポーツ以上に大切なことがあるから |
| 6. 年をとったから | 14. その他（ ） |
| 7. 興味のある競技がないから | 15. 特に理由はない |
| 8. お金に余裕がないから | |

6. 文化・読書・スポーツに関わる活動について

問4 4. あなたは、文化・読書・スポーツを楽しむ人が増えることによって、まちにもたらされる効果は何だとおもいますか。文化・読書・スポーツそれぞれについてあてはまるものに○をご記入ください（○はいくつでも）。

	文化 ぶんか	読書 どくしょ	スポーツ
(例) 好奇心にあふれた人が増える	○	○	
1. 心身ともに健康な人が増える			
2. 健やかに、心豊かな子どもが育つ			
3. 自立して、やりたいことに取り組む人が増える			
4. 新しい、価値ある物事が発信されるようになる			
5. 住民同士が支え合い、助け合う雰囲気生まれる			
6. 多様性が尊重され、住みやすくなる			
7. 社会性や道徳観が高まり、安心して住めるようになる			
8. 地域の人々のコミュニティが形成され、深まる			
9. 地域の課題に主体的に取り組む人が増える			
10. 地域に対する愛着・誇りが高まる			
11. まちの魅力が高まる			
12. 効果はない			

問4 5. 【変更】区が推進する「ぶちスポ」「ぶちカル」「ぶち読み」をご存じですか（○は1つ）。

1. 参加した
2. 聞いたことはあったが参加はしていない
3. 知らなかった

「ぶちスポ」「ぶちカル」「ぶち読み」とは

日常生活の中に少し「運動・スポーツ」、
「文化芸術」「読書」を取り入れて心豊かな生活を過ごしていただくことを目的に、
足立区内にある生涯学習センター・13地域学習センター・江南コミュニティ図書館の計15施設で実施するものです。




説明WEBページ

問4 6. 【変更】「ぶちスポ」「ぶちカル」「ぶち読み」に参加してみたいとおもいますか（○は1つ）。

1. 参加したいと思う	2. 参加したいとは思わない	3. わからない
-------------	----------------	----------

問●●【削除】^{しんがた}新型コロナウイルス^{かんせんしょうかくだいまえ}感染症拡大前^{ねん がつ}（2019年12月）と比較^{ひかく}して、文化・読書・スポーツ^{ぶんか どくしょ}の3分野^{ぶんや}に充てる時間^あに変化^{じかん へんか}はありましたか。あてはまる番号^{ばんごう}を、それぞれ1つだけ選んでください。

問●●【削除】^{しんがた}新型コロナウイルス^{かんせんしょうかくだいまえ}感染症拡大前^{ねん がつ}（2019年12月）と比較^{ひかく}して、文化・読書・スポーツ^{ぶんか どくしょ}の3分野^{ぶんや}の活動^{かつどう}について、満足^{まんぞく}していますか。あてはまる番号^{ばんごう}を、それぞれ1つだけ選んでください。

問●●【削除】^{しんがた}新型コロナウイルス^{かんせんしょうかくだいまえ}感染症拡大前^{ねん がつ}（2019年12月）と比較^{ひかく}して、文化・読書・スポーツ^{ぶんか どくしょ}の3分野^{ぶんや}の活動^{かつどう}（参加^{さんか}）の仕方^{しかた}に変化^{へんか}はありましたか。文化・読書・スポーツそれぞれについてあてはまるものに○をご記入^{きにゆう}ください（○はいくつでも）。

問●●【削除】^{しんがた}新型コロナウイルス^{かんせんしょうかくだいまえ}感染症拡大前^{ねん がつ}（2019年12月）と比較^{ひかく}して、文化・読書・スポーツ^{ぶんか どくしょ}の3分野^{ぶんや}の活動^{かつどう}（参加^{さんか}）において、対面^{たいめん}での実施^{じっし}の重要性^{じゅうようせい}に関する意識^{かん いしき}は、どのように変化^{へんか}しましたか（○は1つ）。

7. あなたの日常生活について

問47. あなたは、次のことがどのくらいあてはまりますか。あてはまる番号を、それぞれ1つだけ選んでください。

	あてはまる	あてはまる どちらかといえば	いえない どちらとも	あてはまらない どちらかといえば	あてはまらない
ア 自分の生活を楽しんでいる	1	2	3	4	5
イ 自分のやりたいことに取り組もうと思う	1	2	3	4	5
ウ 知らない物事を学ぼうと思う	1	2	3	4	5
エ 新しいことにチャレンジしようと思う	1	2	3	4	5
オ まわりの人の役に立とうと思う	1	2	3	4	5
カ 異なる考え方や価値観を尊重しようと思う	1	2	3	4	5
キ 自分の住む地域の人たちとつながりを持とうと思う	1	2	3	4	5

問48. あなたは、次のことを日常的におこなっていますか（○はいくつでも）。

1. 自分のやりたいことに取り組む	4. まわりの人の役に立つことをする
2. 知らない物事を学ぶ	5. 異なる考え方や価値観を尊重する
3. 新しいことにチャレンジする	6. 自分の住む地域の人たちとつながりを持つ

問49. あなたのご近所でのつきあいや地域での活動・イベントについて、実際におこなっていることを教えてください（○はいくつでも）。

※ なお、ここでの「近所の人たち」に家族・親族などは含みません。

1. 近所の人たちと挨拶している
2. 近所の人たちと親しくしている
3. 必要な時に近所の人たちに頼み事をしている
4. 町内会・自治会の活動・イベントに定期的に参加している
5. その他、地域の活動・イベントに定期的に参加している
6. 関心のある活動・イベントがあれば参加する
7. ご近所づきあいや地域の活動・イベントへの参加はない

問50は問49で「7」を選んだ人のみお答えください。

問50. 【変更】ご近所づきあいや地域活動をしない理由はなぜですか（○はいくつでも）。

1. 【削除】新型コロナウイルスの影響のため	7. 他人と関わりたくない
2. 参加しても活動する時間が取れない	8. 自分がやらなくても誰かがやってくれる
3. 活動内容、参加方法がよくわからない	9. 活動費用が負担である
4. 関心がもてない、活動に魅力がない	10. 活動しても地域がよくなるわけではない
5. 役割などの責任が負担である	11. 家族の理解が得られない
6. メンバーが固定化していて馴染みに	12. その他（ ）

しい、敷居が高い

問5 1. あなたは足立区内に住む人と何らかのつながりがありますか（〇はいくつでも）。

※ 家族・親族、会社の同僚、学校の同級生、ご近所づきあいや地域の活動・イベント（問4 5でのつながり）以外で回答してください。

1. 同じ趣味や関心事を持つ人がいる
2. 食事に行ったり、遊んだりする気の合う人がいる
3. 同じサークルやグループで活動している人がいる
4. 一緒にボランティア活動をする人がいる
5. 一緒に何かを学ぶ人がいる
6. その他のつながりがある（ ）
7. つながりのある人はいない

問5 2. あなたは、次のことがどのくらいあてはまりますか。あてはまる番号を、それぞれ1つだけ選んでください。

	あてはまる	あてはまる どちらかといえば	どちらともいえない	あてはまらない どちらかといえば	あてはまらない
ア 足立区に愛着を持っている	1	2	3	4	5
イ 足立区に誇りを持っている	1	2	3	4	5
ウ 足立区を人にすすめたい	1	2	3	4	5
エ 仕事や学業、家事などのほか、趣味や自分の 楽しみのために使える時間が充分取れている	1	2	3	4	5
オ 食費や光熱費などの生活に必要な不可欠な費用 のほか、趣味や自分の楽しみのために使えるお 金が充分得られている	1	2	3	4	5

問5 3. 文化・読書・スポーツのそれぞれについて、あなたが日頃お考えになっていることがあれば自由にご記入ください。

文化	
読書	
スポーツ	

以上でアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。



足立区 文化・読書・スポーツに関するアンケート調査

ご回答いただく皆様へ

ご回答いただいた内容は、すべて個人が特定できないよう統計的に処理し、お名前や個別のご意見がそのまま公表されることはありません。また、統計の報告以外の目的には使用いたしません。ぜひ率直なご意見をお聞かせください。

- 「保護者向け調査」には保護者の方ご本人が、「子ども向け調査」にはお子さんご本人がお答えください。もし、ご本人がご記入いただけないときは、身近な方が、ご本人の意見を聞きながら記入してくださいませよう願いいたします。万一、ご病気などでお答えいただけない場合や、読みたくない、回答したくない場合は、無理にすべての設問を回答しなくてもかまいません。可能でしたら、ご回答いただける質問のみでもお答えいただければ幸いです。
- ご記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
- お答えは、あてはまる番号に○印をつけてください。
- 質問によっては、回答していただく方や○をつける数を指定しておりますので、（ ）内のことわり書きをよくお読みください。
- 「その他」にあてはまる場合は、（ ）内にできるだけ具体的にその内容を記入してください。
- この調査票は、無記名式となっています。調査票と返信用封筒には、ご住所・お名前をご記入いただく必要はありません。

ご記入いただきました調査票は、調査票が入っていた封筒に入れ、11月1日（月）までに学級担任にご提出ください。

この調査は足立区がおこなっており、学校は配付等のみの協力です。調査の内容、考え方、記入のしかたなどについて、わからないことがございましたら、足立区の下記担当までご連絡ください。

【お問い合わせ先】 足立区地域のちから推進部生涯学習支援課
電話：03-3880-8017

メール：sg-shien@city.adachi.tokyo.jp

保護者向け調査

はじめに、回答される方ご自身について教えてください。

問1. あなたの性別をお答えください（○は1つ）。

1. 男性 2. 女性 3. どちらでもない 4. 無回答

問2. あなたの年齢をお答えください（令和●年●月●日現在、○は1つ）。

1. 19歳以下 2. 20～24歳 3. 25～29歳 4. 30～34歳 5. 35～39歳 6. 40～44歳 7. 45～49歳 8. 50～54歳 9. 55～59歳 10. 60～64歳 11. 65～69歳 12. 70～74歳 13. 75～79歳 14. 80歳以上

問3. あなたはそのお子さんにとっての何にあたりますか（○は1つ）。

1. 母親・父親 2. 祖父母 3. その他（ ）

1. あなたの文化・読書・スポーツに対する関心・行動について

ここからの質問に出てくる「文化芸術」「読書」「運動・スポーツ」は以下のことを指します。

【言葉の定義】

- 文化芸術：音楽、美術、演劇、舞踊、芸能（歌舞伎、能・狂言、雅楽など）、文化財・遺跡、華道、書道、茶道、盆栽、映画など
- 読書：本や雑誌、漫画などを読むこと。電子書籍（紙に印刷された本ではなく、画面で読む本や雑誌のこと）も含みます。
- 運動・スポーツ：競技スポーツに限らず、健康増進のための軽い体操やウォーキングのほか、エレベーターを使わずに階段を使う、バス停1つ分を歩くなどの目的をもった身体活動を含みます。

問4. あなたは、次のことに関心がありますか（○はいくつでも）。

※ 現在、文化芸術、読書、運動・スポーツに関わる活動をおこなっていないなくても、関心があれば「1」～「3」に○をご記入ください。

1. 文化芸術（観たり、聴いたり、創作すること）
2. 読書
3. 運動・スポーツ（実施したり、観戦したり、支援すること）
4. 文化芸術、読書、運動・スポーツ以外のことに関心がある（ ）
5. 特に関心のある分野はない

問5. あなたは、過去1年間に、文化ホールや美術館等の施設やイベント等で直接、または、オンラインやWEBやテレビで、文化芸術の作品を観たり、聴いたりしたことはありますか。ある人は、その内容もお答えください（○は1つ）。

1. 観たり、聴いたりした（主な内容： _____ ）
2. したかったが、できなかった
3. しようと思わなかった

問6. 【変更】あなたは、最近1か月間に、次のことをしたことはありますか（○はいくつでも）。

※ ここでいう「本」、「漫画」、「雑誌」にはスマートフォンやパソコンなどで読む電子書籍も含みます。いずれも最後まで読み切っていなくてもかまいません。

※ 「新聞」には電子版のほか、オンライン上の新聞記事を読むことも含みます。

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1. 本を読む | 5. 図書館に行く |
| 2. 漫画を読む | 6. 書店・古書店に行く |
| 3. 雑誌を読む | 7. 【変更】本などの紹介動画や通販サイトをみる |
| 4. 新聞（記事単体も含む）を読む | 8. 1～7のことをしたかったが、できなかった |
| | 9. 1～7のことをしようと思わなかった |

問7. あなたは、過去1年間に、運動・スポーツを実施しましたか（○は1つ）。

1. 実施した
2. 実施したかったが、できなかった
3. 実施しようと思わなかった

問8は問7で「1」を選んだ人のみお答えください。

問8. あなたは、どれくらい運動・スポーツを実施しましたか（○は1つ）。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 週に3日以上 | 4. 3か月に1～2日 |
| 2. 週に1日以上 | 5. 年に1～3日 |
| 3. 月に1～3日 | 6. わからない |

問9. あなたは、次のことがどのくらいあてはまりますか。あてはまる番号を、それぞれ1つだけ選んでください。

	あてはまる	あてはまる どちらかといえば	どちらともいえない	あてはまらない どちらかといえば	あてはまらない
ア 仕事や学業、家事などのほか、趣味や自分の 楽しみのために使える時間が充分取れている	1	2	3	4	5
イ 食費や光熱費などの生活に必要な 費用のほか、趣味や自分の楽しみのために使 えるお金が充分得られている	1	2	3	4	5
ウ 仕事や学業、家事などを除き、 <u>あなたのお子 さんの</u> 趣味や楽しみのために使える時間が 充分取れている	1	2	3	4	5
エ 食費や光熱費などの生活に必要な 費用を除き、 <u>あなたのお子さんの</u> 趣味や楽し みのために使えるお金が充分得られている	1	2	3	4	5

問●●【削除】新型コロナウイルス感染症拡大前（2019年12月）と比較して、文化・読書・スポーツの3分野に充てる時間に変化はありましたか。あてはまる番号を、それぞれ1つだけ選んでください。

問●●【削除】新型コロナウイルス感染症拡大前（2019年12月）と比較して、文化・読書・スポーツの3分野の活動について、満足していますか。あてはまる番号を、それぞれ1つだけ選んでください。

2. あなたのお子さんのことについて

※ 次からの設問は、この調査票をお持ち帰りいただいたお子さんのことをお答えください。

問10. あなたのお子さんの性別をお答えください（○は1つ）。

1. 男子	2. 女子	3. どちらでもない	4. 無回答
-------	-------	------------	--------

問11. 【変更】あなたのお子さんについて、過去1か月間の様子にあてはまる番号を、それぞれ1つだけ選んでください。

	まったくこのとおり	だいたいこのとおり	少し合っている	ほとんど合っていない	まったくちがう
ア 【変更】将来、未来について、明るく話す	1	2	3	4	5
イ 自分のベストを尽くそうとする	1	2	3	4	5
ウ 【変更】馬鹿にされたり、悪口を言われても、うまく対処することができる	1	2	3	4	5
エ 【変更】他人にきちんと挨拶することができる	1	2	3	4	5
オ 大人が指示しなくとも、自ら学校の準備、宿題、家の手伝いができる	1	2	3	4	5
カ 必要な時には適切にアドバイスを求めることができる	1	2	3	4	5
キ 将来よい結果となるように、今欲しいものをあきらめたり、嫌なことでも実行することができる	1	2	3	4	5
ク 自分がわからなかったことを知るために、質問をすることができる	1	2	3	4	5

問 1 2. あなたのお子さんは、学校の授業以外で美術や音楽、ダンスなどの文化的な活動をして
いますか（○はいくつでも）。

1. 美術の習い事（絵画、造形など）
2. 音楽の習い事（ピアノ、電子オルガンなど）
3. バレエなどの舞踊、ダンス、演劇などの習い事
4. 華道、茶道、書道などの習い事
5. 学校のクラブ活動・部活動
6. その他（)
7. していない

問 1 3. 一般的に、子どもが文化・読書・スポーツを楽しむことで得られるものは何だと思いき
か。それぞれの分野について3つまで選び、番号をお書きください。

- (例)
- ※ 番号は重複してもかまいません。
- ※ 各分野について番号は3つまで。

文化	4	8	1 1
文化			
読書			
スポーツ			

1. 自分のやりたいことに向かって心と体を働かせる意欲
2. 何事もおきらめずにやりとげる意欲
3. 自分自身が価値のある存在だと思う気持ち
4. 新しい考えを生み出し、自分の考えをより良いものにする意欲
5. 感じたことや考えたことを自分で表現する意欲
6. 他者とのコミュニケーションを楽しむ意欲
7. 相手の立場に立って行動する意欲
8. 他者の意見や価値観を尊重する気持ち
9. 社会の決まりやルールを守る気持ち
10. 身近な人にとって役に立とうとする意欲
11. 他人と協力・協調する気持ち
12. 自分の住む地域やまちへの愛着や誇り
13. その他()
14. わからない
15. 特にない

※ 次からの設問は、この調査票をお持ち帰りいただいたお子さんの
 小学校入学直前1年間の様子を振り返ってお答えください。

問14. 文化・読書・スポーツに関わる活動のうち、あなたのお子さんが好きなことは何でしたか
 (○はいくつでも)。

1. 絵を描くことや、観ること (塗り絵を楽しむことも含む)
2. 音楽を聴くことや、演奏すること (歌うことも含む)
3. ダンスをすること
4. 映画やアニメを観ること
5. 本を読むことや、読み聞かせてもらうこと
6. 図鑑などで何かを調べること
7. 外遊びなど、体を動かすこと
8. 水泳やサッカー、野球などのスポーツをすること
9. スポーツの試合を観ること
10. その他()
11. 文化・読書・スポーツのいずれも関心がなかった

問15. あなたのお子さんには、幼稚園・保育園での活動以外で、次のことをさせていましたか
 (○はいくつでも)。

- | | |
|---|---------------------------|
| 1. 文化ホールやコンサート会場に出かけて文化芸術の作品を観たり、聴いたりすること | 4. 映画館で映画やアニメを観ること |
| 2. 美術館や展覧会に出かけて文化芸術の作品を観ること | 5. 音楽や美術、ダンスなどの習い事 |
| 3. 劇場などで演劇やダンス、芸能などを観たり、聴いたりすること | 6. 工作やものづくりなどのワークショップへの参加 |
| | 7. 1～6のいずれもさせなかった |

問16. あなたのお子さんは、幼稚園・保育園での活動以外で、本を読んでいたか (大人が読み聞かせる場合も含む) (○は1つ)。

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. よく読んでいた | 3. 読まなかった |
| 2. ときどき読んでいた | |

問 1 7. あなたのお子さんは、本を読む以外に、次のことをしていましたか（○はいくつでも）。

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 図鑑などで何かを調べた | 4. 読み聞かせのイベントに参加した |
| 2. 図書館に行った | 5. 1～4 のいずれもしなかった |
| 3. 書店に行った | |

問 1 8. あなたのお子さんは、幼稚園・保育園での活動以外で、30分以上からだを動かす遊びや習い事に行くことが、1週間あたりでどれくらいありましたか（○は1つ）。
（例：ボール遊び・自転車・サッカー・野球・空手・剣道・体操・バレエ・水泳 など）

- | | |
|---------|---------|
| 1. 1～2回 | 4. 7回以上 |
| 2. 3～4回 | 5. なかった |
| 3. 5～6回 | |

問 1 9は問 1 5で「7」、問 1 6で「3」、問 1 8で「5」を1つでも選んだ人のみお答えください。

問 1 9. 【変更】あなたのお子さんにさせなかった、またはお子さんがしなかった理由は何か。それぞれの分野について3つまで選び、番号をお書きください。

- (例)
- ※ 番号は重複してもかまいません。
 - ※ 各分野について番号は3つまで。
 - ※ あてはまる理由がない場合は、空欄で構いません。

文化	4	8	11
文化			
読書			
スポーツ			

1. お金がかかるから
2. 身近に体験・活動できる機会がなかったから
3. 身近に自分や配偶者の仲間がなかったから
4. 自分や配偶者が仕事で忙しくて時間がなかったから
5. 自分や配偶者が家事・育児で忙しくて時間がなかったから
6. 自分や配偶者が文化・読書・スポーツに関心がなかったから
7. 子どもに文化・読書・スポーツをさせる機会について情報がなかったから
8. どのように体験・活動させてよいかわからなかったから
9. 子どもが文化・読書・スポーツをきらいだったから
10. 子どもの健康上の都合で
11. その他（ ）
12. 特にない

以上で保護者向けのアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。
次のページからはお子さんがご回答ください。

子ども向け調査

問1. あなたは、次のことが好きですか（○はいくつでも）。

1. 絵を描くことや、観ること（塗り絵を楽しむことも含む）
2. 音楽を聴くことや、演奏すること（歌うことも含む）
3. ダンスをすること
4. 映画やアニメーションを観ること
5. 本を読むことや、読み聞かせてもらうこと
6. 図鑑などで何かを調べること
7. 外遊びなど、体を動かすこと
8. 水泳やサッカー、野球などのスポーツをすること
9. スポーツの試合を観ること
10. その他（ ）
11. 文化・読書・スポーツのいずれも関心がなかった

問2. あなたは、1年前から今までの間、学校行事以外で、絵や映画、お芝居などを観たり、音楽を聴いたりしたことはありますか（○はいくつでも）。

1. 文化ホール、美術館、博物館、映画館などに行った
2. イベント、お祭りなどに行った
3. スマートフォン・パソコン・タブレット端末などを使ったオンラインやWEB、テレビで観たり聴いたりした
4. 観たり、聴いたりしていない

問3は問2で「1」～「3」を選んだ人のみお答えください。

問3. 【削除】あなたは、どのようなきっかけがあれば、絵や映画、お芝居などを観たり、音楽を聴いたりするようになると思いますか（○はいくつでも）。

【追加】あなたは、文化芸術の情報を、どのような手段で入手していますか（○はいくつでも）。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. インターネット | 5. 口コミ |
| 2. SNS | 6. ポスター・チラシ |
| 3. テレビ・ラジオ | 7. 雑誌・新聞 |
| 4. あだち広報 | 8. その他（ ） |

問4. 【変更】あなたは、この1か月の間、本や新聞などを読んだり、図書館に行ったりしましたか。読んだり、行ったりしたことがあるものをすべて選んでください。スマートフォンなどで読んだ場合も含みます（○はいくつでも）。

1. 本を読んだ	6. 本屋に行った
2. 新聞を読んだ	7. 【変更】本などの紹介動画や通販サイトをみた
3. 雑誌を読んだ	8. 【追加】1～7のことをしたかったが、できなかった
4. マンガを読んだ	9. 【追加】1～7のことをしようと思わなかった
5. 区の図書館に行った	

問5は問4で「1」～「7」を選んだ人のみお答えください。

問5. あなたは、どのような方法で本を読みましたか（○はいくつでも）。

1. 紙の本	4. パソコン
2. スマートフォン	5. 電子書籍専用端末
3. タブレット	6. その他（ ）

問6は問4で「8」～「9」を選んだ人のみお答えください。

問6. あなたは、どのようなきっかけがあれば、本を読むようになるとおもいますか（○はいくつでも）。

1. 図書館に読みたい本がある	5. 一緒に本を楽しむ友人と出会える
2. 身近な場所で本が手にとれる	6. その他（ ）
3. 読みたい本を紹介してくれる	7. わからない
4. 読書の楽しさを教えてくれる	

問7. あなたは、どのくらいの頻度で電子書籍を読みましたか（○は1つ）。

※ 電子書籍とは、紙に印刷された本ではなく、画面で読む本や雑誌のことです。

1. ほぼ毎日読む	4. ほとんど読まない
2. 少なくとも週に1度は読む	5. 読まない
3. 少なくとも月に1度は読む	



問8. あなたは、授業で利用する以外で、通っている学校の図書館・図書室にどのくらい行きますか（○は1つ）。

1. 週に1回以上	2. 月に2回以上	3. 月に1回程度	4. 行かない
-----------	-----------	-----------	---------

問9は問8で「1」～「3」を選んだ人のみお答えください。

問9. あなたが、学校の図書館・図書室に行くときは、どのようなときですか（○はいくつでも）。

1. 本を読みたいとき	4. その他（ ）
2. 何かを調べたいとき	5. 特に目的はない
3. 宿題や勉強をするとき	

問10. 学校以外で30分以上からだを動かす遊びや習い事に行くことが、1週間あたりでどれくらいありますか(○は1つ)。

(例: ボール遊び・自転車・サッカー・野球・空手・剣道・体操・バレエ・水泳 など)

- | | |
|------------------|---------|
| 1. ほとんどしない・全くしない | 4. 5～6回 |
| 2. 1～2回 | 5. 7回以上 |
| 3. 3～4回 | |

問11～問14は問10で「1」を選んだ人のみお答えください。

問11. 【追加】あなたは、どこで運動・スポーツをしましたか。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 学校の中 | 4. ならいごとの場所 |
| 2. 学校の外(公園など) | 5. 特に決まった場所はない |
| 3. 家の中 | |

問12. 【追加】運動・スポーツを実施して、あなたはどのように感じましたか。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 楽しかった | 6. 体がきたえられた |
| 2. ストレスがすっきりした | 7. 友達が増えた |
| 3. 気持ちが元気になった | 8. 自信がついた |
| 4. 眠れるようになった | 9. 特に何も感じなかった |
| 5. 風邪をひきにくくなった | 10. その他() |

問13. 【追加】あなたは、どのようなときに運動・スポーツを実施したいと思いますか。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 友達と一緒にできるとき | 5. 自分が上手くなったと感じたとき |
| 2. 学校や児童館でイベントがあるとき | 6. 運動・スポーツをする時間があつたとき |
| 3. テレビやYouTubeなどでみたとき | 7. 特にない |
| 4. コーチや先生にほめられたとき | |

問14. あなたは、どのようなきっかけがあれば、運動・スポーツをするようになるとおもいますか(○はいくつでも)。

- | |
|-------------------------------|
| 1. 親と一緒に運動・スポーツができる |
| 2. 兄弟、姉妹や友達と一緒に運動・スポーツができる |
| 3. トップアスリートと一緒に運動・スポーツができる |
| 4. 公園など、近所で運動・スポーツができる |
| 5. 無料で運動・スポーツができる場所やイベントがある |
| 6. レベルを気にせず参加できる機会がある |
| 7. 楽しみ方や技術を教えてくれる |
| 8. プロの試合やトップアスリートの大会を観ることができる |
| 9. その他() |
| 10. わからない |

問15. あなたは、1年前から今までの間、学校行事や授業以外で、運動・スポーツの大会や試合などを観戦しましたか（〇はいくつでも）。

1. 足立区内の施設やイベントで観戦した
2. 足立区外の施設やイベントで観戦した
3. スマートフォン・パソコン・タブレット端末などを使ったオンラインやWEB、テレビで観戦した
4. 観戦していない

問16. あなた自身についてお聞きします。いつもの自分にいちばんよく合う答えを、それぞれ1つだけ選んでください。

	はい	はい ええ どちら かと	いい ええ どちら かと	いい ええ
ア 自分に、自信がありますか	1	2	3	4
イ たいていのことは、人よりうまくできると思いますか	1	2	3	4
ウ 自分には、人にじまんできるところがたくさんあると思いますか	1	2	3	4
エ 何をやってもうまくいかないような気がしますか	1	2	3	4
オ 今の自分に、まんぞくしていますか	1	2	3	4
カ 自分はきっと、えらい人になれると思いますか	1	2	3	4
キ 自分は、あまり役に立たない人間だと思いますか	1	2	3	4
ク 自分の意見は、自信をもって言えますか	1	2	3	4
ケ 自分にはあまりいいところがないと思いますか	1	2	3	4
コ 失敗をするのではないかと、いつも心配ですか	1	2	3	4
サ あなたは自分が健康だと思いますか	1	2	3	4
シ ふだんの生活を楽しいと思いますか	1	2	3	4

問●●【削除】新型コロナウイルス感染症拡大前（2019年12月）と比較して、文化・読書・スポーツの3分野に充てる時間に変化はありましたか。あてはまる番号を、それぞれ1つだけ選んでください。

問●●【削除】新型コロナウイルス感染症拡大前（2019年12月）と比較して、文化・読書・スポーツの3分野の活動について、満足していますか。あてはまる番号を、それぞれ1つだけ選んでください。

以上で子ども向けのアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。
ご記入が終わりましたら、この調査票が入っていた封筒に入れ直して、封をして
お子さんを通じて担任の先生にお渡しください。